

鳥取県営東山水泳場

—管理委託業務に関する事業計画書—



武良竜也 選手

令和3年7月
2020東京オリンピック競泳
100m平泳ぎ 準決勝進出
200m平泳ぎ 7位入賞
4×100mメドレーリレー 6位入賞
日本新記録樹立



三上紗也可選手・安田千万樹コーチ

令和3年8月
2020東京オリンピック 飛込競技
3メートル板飛び込み 準決勝進出

令和3年10月14日

申請者/一般財団法人鳥取県水泳連盟・公益財団法人鳥取県スポーツ協会共同企業体

代表者 一般財団法人鳥取県水泳連盟

会長 川口 武

目 次

はじめに	1
1 管理運営の基本的な考え方	3
(1) 鳥取県営東山水泳場の指定管理者を希望する理由	4
(2) 基本方針策定にあたり	5
(3) 管理運営の基本方針	8
(4) 収入収支に係る帳簿、証憑書類について	20
(5) 他の施設管理の実績	21
(6) 鳥取県営東山水泳場のあゆみ	27
2 施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容	32
(1) サービスの向上策と利用促進に向けた取り組み	32
(2) これまで取り組んできたサービス向上手段 33 項目について	43
(3) サービス向上手段 33 項目の評価、及び改善の方向と取り組み	47
(4) 夏休み期間中の利用時間の延長について	48
(5) 大会時の開錠及び準備・片付けについて	49
(6) 水泳用品の無料の貸し出しについて	49
(7) 県民の日に因んだ催しの開催	49
(8) 今後、5 年間のサービス向上策について	51
(9) 利用者等の要望の把握及び対応方針	55
3 施設管理	58
(1) 施設設備の維持管理、衛生管理の考え方	59
(2) 衛生管理について	62
(3) 外部委託の考え方	67
4 料金設定	69
(1) 開館時間の考え方と設定内容	69
(2) 休館日の考え方と設定内容	69
(3) 利用料金の考え方と設定内容	70
(4) 利用料金の減免に対する考え方と設定内容	71
5 事故・事件の防止措置と緊急時の対応	73
(1) 火災・盗難・災害などの事故・事件の防止（防火）対策	73
(2) 緊急時の体制・対応	74
(3) 利用者の苦情等トラブルの未然防止と対処方法	84

6 個人情報保護等への対応	87
(1) コンプライアンス（法令の遵守）について	87
(2) 個人情報保護方針について	87
(3) マイナンバーへの対応	89
(4) 情報公開への対応	89
7 スポーツの普及振興	91
(1) スポーツの普及振興の考え方	91
(2) スポーツ普及振興に係る事業	94
(3) イベント事業の開催	98
8 障がい者にやさしい施設	99
(1) 障がい者が利用しやすい施設とするための取り組み	99
(2) 障がい者スポーツの普及振興に係る事業・取り組み	100
9 組織及び職員の配置等	102
(1) 管理運営の組織	102
(2) 職員の職種等	104
(3) 日常の職員配置	104
(4) 職員のプロフィール ～私たちにお任せ下さい～	106
(5) 現在の指定管理者の雇用する施設職員の継続雇用に関する方針	109
(6) 人材育成	109
(7) 障がい者又は高齢者の雇用計画	112
10 関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況及び対応状況	113
11 委託、工事請負の発注予定	114
(1) 発注予定	114
(2) 障がい者就労施設及びシルバー人材センター等への委託の発注予定	114
12 法人等の社会的責任の遂行状況	115
(1) 障がい者雇用	115
(2) 男女共同参画推進企業の認定	115
(3) ISO14001・鳥取県環境システム審査登録制度(TEAS)Ⅰ種又はⅡ種 企画認証等	115
(4) あいサポート企業等の認定等	115
(5) 家庭教育推進協力企業としての協定締結	116
13 その他の計画等	117
(1) 管理業務の移行計画	117

(2) 館内の禁煙・分煙について.....	117
(3) 社会貢献活動	117
(4) 地域との連携における施設利用.....	118
(5) 駐車場について.....	120
(6) 鳥取県営東山水泳場.....	121
むすびに.....	124

はじめに

私たちは、鳥取県営東山水泳場の管理運営にあたり、一般財団法人鳥取県水泳連盟及び公益財団法人鳥取県スポーツ協会の設立の目的が、

■鳥取県水泳連盟（昭和63年4月25日設立）

「水泳及び水泳競技の健全な普及・発展を図り、もって鳥取県民皆泳の実を挙げ、県民の心身の健全な発達に寄与すること」

■鳥取県スポーツ協会（大正7年12月15日設立）

「スポーツの普及、及び健全な発展を図ることにより、県民の体力向上及びスポーツ精神の高揚に寄与すること」

を基本理念に掲げ、幼児から高齢者に至るまで、鳥取県民の健康維持、体力向上及びスポーツ精神のすそ野の拡充に取り組んできました。

その成果として、県民の永い間の悲願である「2020東京オリンピック」で、2名（競泳競技男子1名、飛込競技女子1名）を日本代表選手として送り出し入賞を含む立派な成績をあげることができました。

鳥取県では令和2年3月に「鳥取県令和新時代創生戦略」が策定され、「第2期戦略」の一貫として世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に全力で対処し、2020年10月「鳥取県の将来ビジョン」の10年後の鳥取県を見据え、2つの企業体の実績を生かし共同企業体とし、鳥取県営東山水泳場の管理運営の課題解決に向け取り組んでいきます。



一般財団法人
鳥取県水泳連盟
TOTTORI Swimming Federation



共同企業体

みんなでスポーツを！
公益団法人
鳥取県スポーツ協会



オリンピック表敬訪問時の平井県知事
と県水泳連盟藤縄名誉会長



右からオリンピックに出場した武良竜
也選手、三上紗也可選手、安田千万樹



幼児から高齢者からトップアスリートまで
笑顔いっぱいの東山水泳場

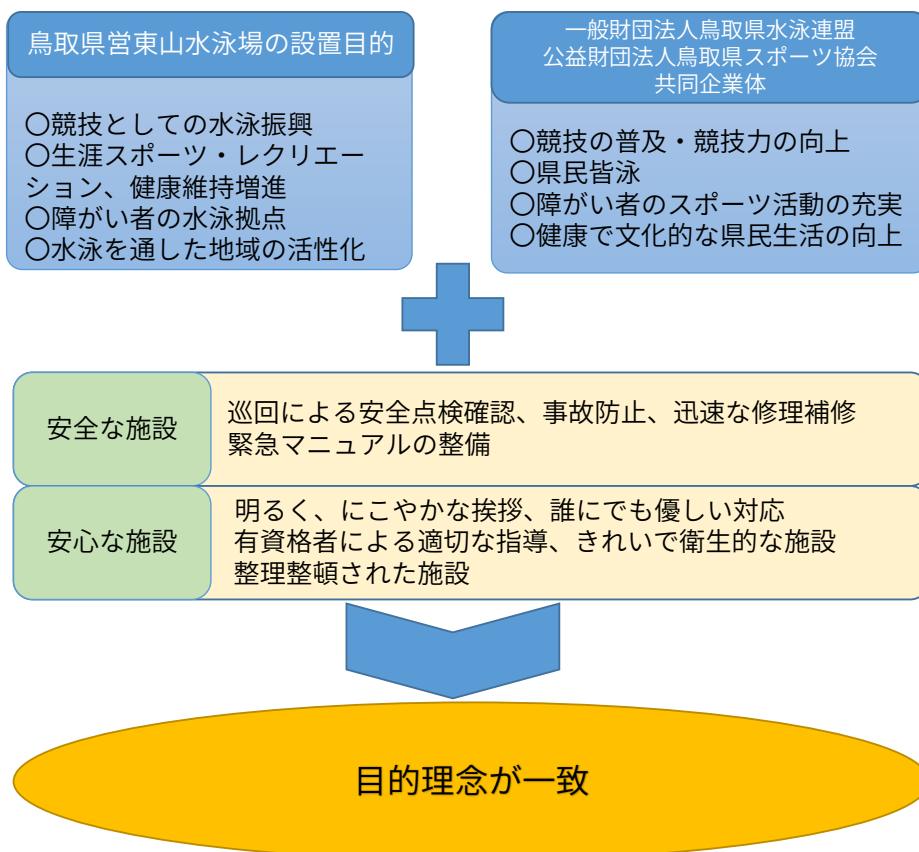




1 管理運営の基本的な考え方

(1) 鳥取県営東山水泳場の指定管理者を希望する理由

一般財団法人鳥取県水泳連盟（以下：県水連という）と、公益財団法人鳥取県スポーツ協会（以下：県スポーツ協会という）は、共同企業体として協定を結び、一般財団法人鳥取県水泳連盟・公益財団法人鳥取県スポーツ協会共同企業体（以下：共同企業体という）としてこれまで東山水泳場を管理・運営してまいりました。

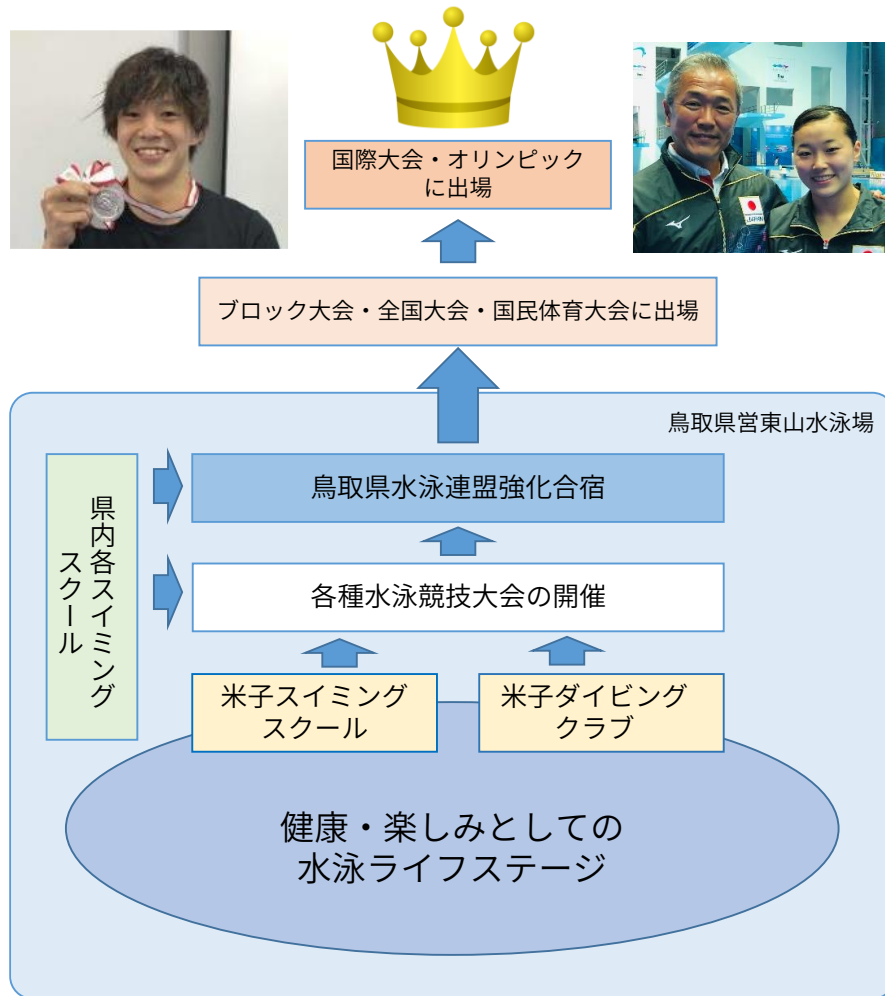


私たちは、指定管理制度の目的であるサービスの向上、コストパフォーマンスの削減を基軸に、平成 27 年 11 月から平成 28 年 3 月、平成 28 年 4 月から令和 3 年の 5 年半にわたり県民の交流の拠点として、「鳥取県民皆泳」の合言葉のもと県民のスポーツ振興を図り、県営東山水泳場を管理運営し好評を得ています。

次期指定管理期間においても、県民の健康づくり、障がい者水泳の普及、アスリートの競技力向上などスポーツ振興やスポーツ文化の交流の場として、安全で安心して公平に利用できる快適環境づくりに取り組んでいきます。

このような理由から令和 4 年以降も引き続き、鳥取県営東山水泳場を管理運営させて頂きたく応募いたします。





水泳の拠点としての県営東山水泳場

(2) 基本方針策定にあたり

私たちは水泳振興を通じ、県民の健康増進及び水泳場の活性化のため、県民が安心して利用できる快適な施設の環境づくりに取り組んでいきます。

プールを利用される皆さまの安全確保には、日常または定期的な保守業務及び点検が不可欠で、常に施設設備の最良状態の維持に努めます。

鳥取県が策定した、2030年の鳥取県の姿6項目

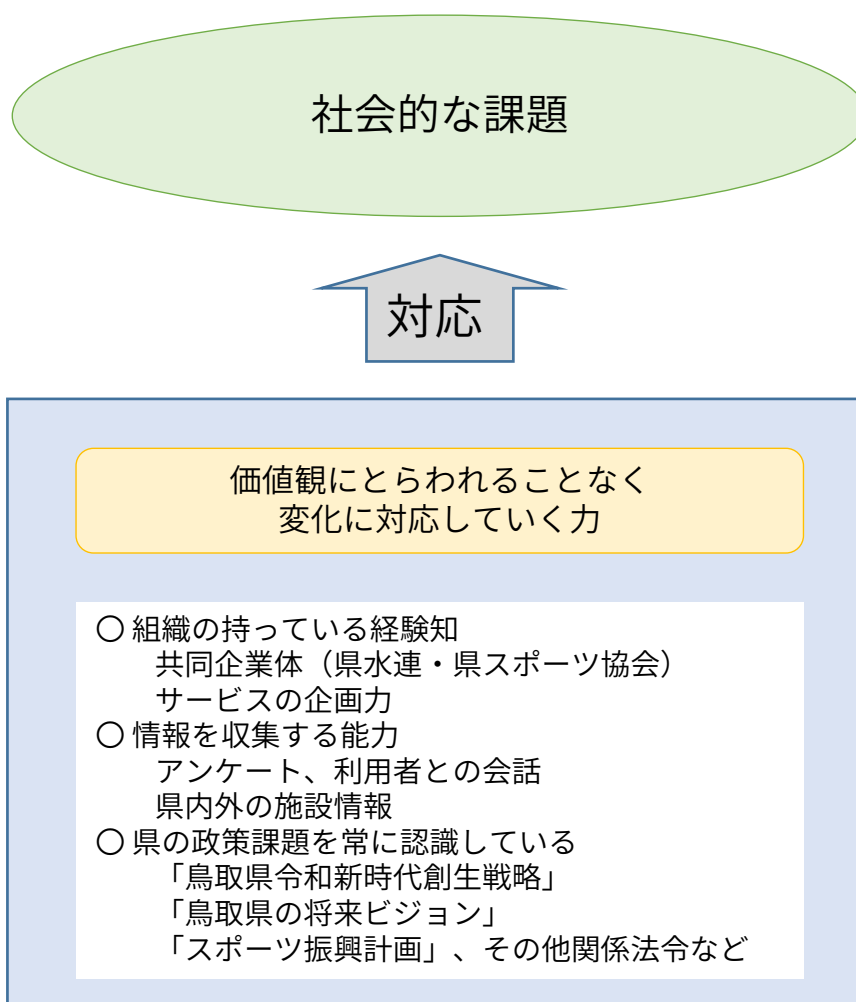
- 1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく
- 2 つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る
- 3 守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ
- 4 楽しむ いきいきと楽しみながら充実した生活を送る
- 5 支え合う お互いを認め、尊重して、支え合う
- 6 育む 次代に向けて、躍動する「ひと」を育む

の実現や鳥取県の当施設に関わる政策課題の「SDGs（持続可能な開発目標）」目標達成に取り組みます。



① 変化の速い社会において

近年、社会の変化は目覚ましく、新型コロナウイルスの感染など大きな社会問題となる中、本施設でもその対策に苦慮しており、地震や火災など自然災害はもとより人為的な災害・事故など想定外の課題に対し、組織をあげ下付の課題解決に取り組み、想定外を想定内になるように取り組んでいきます。

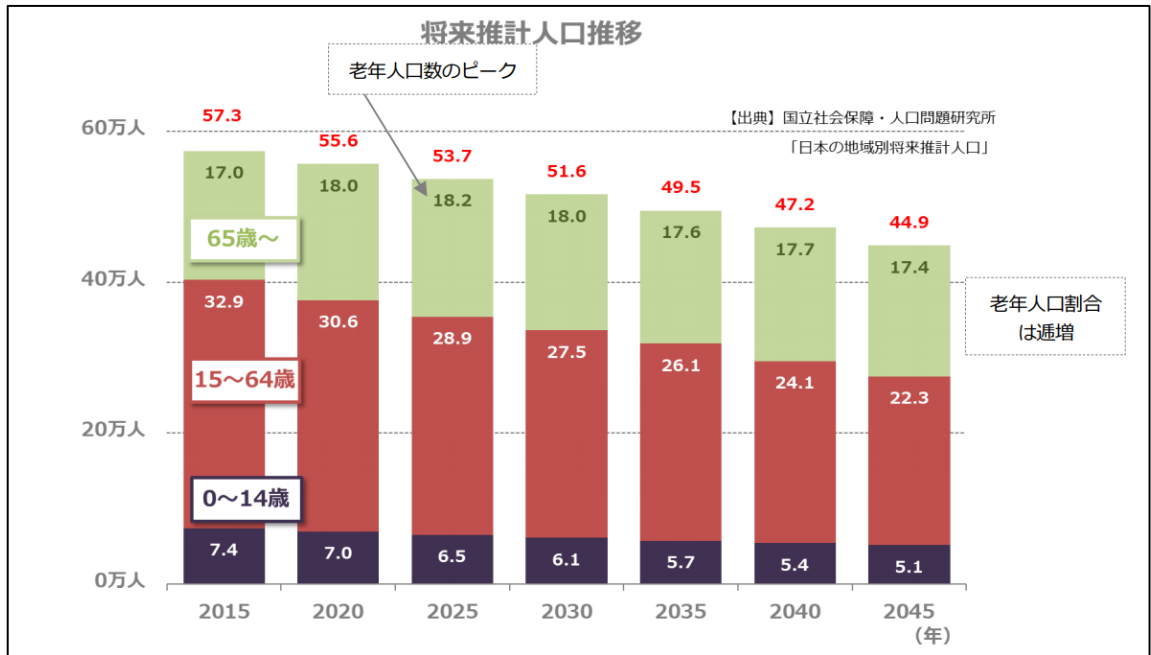


② 鳥取県の現状

鳥取県人口は、高齢化が急速に進み、2040年には約47万人となる推計が出ていて、人手不足、後継者の確保、インフラ維持管理費や社会保障費の増加などが一層深刻化していく可能性があります。人口が減少する中では、一人ひとりの存在がより大きくなり、自分らしい生き方を求め、健康で安心して暮らせることが大切です。

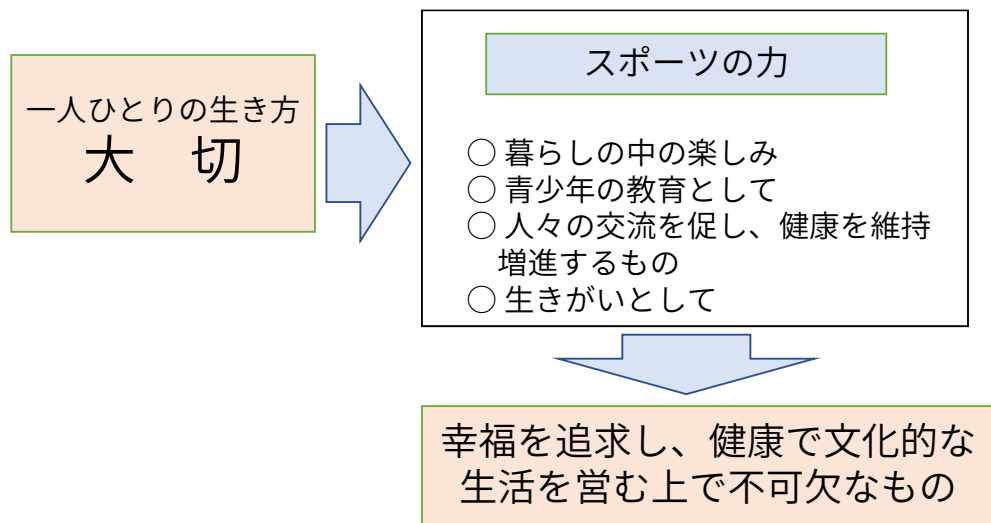
スポーツ（運動）の持つ力は大きく、一人ひとりの自立した生き方に、多大な影響を与え、それはそのことが社会の支えとなってくることが想定されます。





「鳥取県令和新时代創生戦略（R3年改訂）より」

③ スポーツの力と水泳



「スポーツ宣言日本 ～二十一世紀におけるスポーツの使命～」より

現代社会において、一人ひとりの生き方がより一層大切で「スポーツの持つ力」は意義深く大きいものがあります。私たちは、水泳を通して「幸福を追求し、健康で文化的な生活」を送れるよう支援していきます。東山水泳場の存在が水泳の普及につながり、ひいては県民が健康的な生活を送れるよう、管理運営を行ってまいります。



水泳の一般的な健康上の特性

- ① 血行が良くなり、肩こりが改善されます。
- ② 心肺機能の向上につながります。
- ③ 水圧がかかり、心臓に血液が押し戻される働きが楽に行われ、血行が良くなります。
- ④ 水泳は有酸素運動と呼ばれる運動で、脂肪の分解や燃焼に効果があります。
- ⑤ 有酸素運動は、心と体をリラックスさせます。

(3) 管理運営の基本方針

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条の 2 第 1 項の規定に基づき、社会的に自立していく力を養い、スポーツ活動やボランティア活動、地域社会との交流等様々な事に挑戦できる場とし、地域社会の基盤となり県民の健全な発達に寄与できるように管理運営してまいります。

県民のためにスポーツの普及及び振興に関する各種の取り組み、事業を行い、もって県民の健全な発達に寄与すること

事業計画書に基づき利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設設備の機能が十分発揮・維持されるよう適正な管理を行うとともに、管理運営経費の節減に努めます。

私たちは、委託業務の遂行にあたり、県民に広く利用する公の施設として、お客様にとって公平で快適な施設の使用及び環境づくりや水泳振興、県民の健康増進など水泳場の利用の促進を目指します。

また、水泳場の施設設備について、日常または定期的に必要な保守業務及び点検を行うとともに、最良の状態を維持するとともに以下の点を遵守し、利用者の安全確保に努めます。

ア 公の施設であることを念頭において、公平な利用を確保しながら適切な管理運営を行うこととし、特定の団体等利用者に有利あるいは不利になる運営は行いません。

イ 事業計画書等に基づき、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、また施設設備の機能が十分に発揮・維持されるよう適正な管理運営を行うとともに、管理運営経費の節減に努めます。

ウ 利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めていくとともに利用促進に努めます。

エ 省エネルギーに努めるとともに、廃棄物の発生を抑制し、環境に配慮した管理を行います。



オ 県や東山公園を管理する米子市及び指定管理者と密接に連携を図りながら、管理運営を行います。

管理運営方針

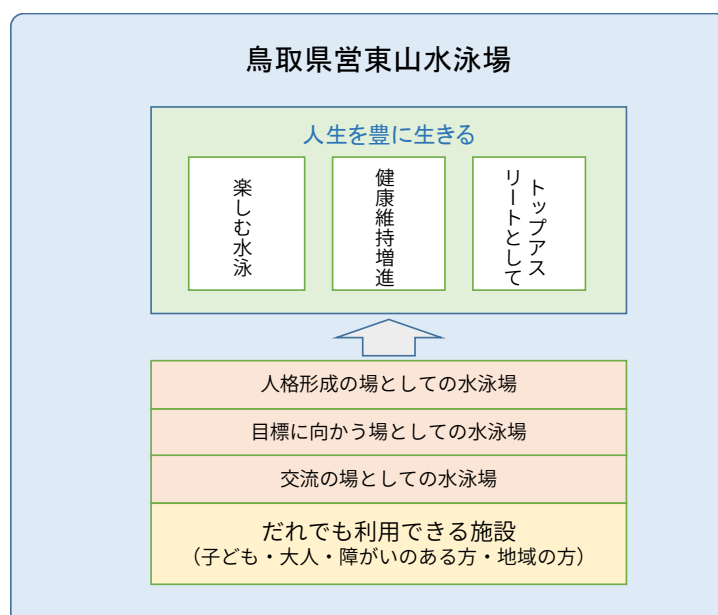
- ① 公の施設としての性格の理解
- ② 事業計画に基づいた運営と経費の節減
- ③ 利用者の満足度を高める管理運営
- ④ 環境に配慮した管理
- ⑤ 県、米子市など行政機関と密接な連携

① 公の施設「鳥取県営東山水泳場」(公平な利用の確保)

鳥取県営東山水泳場は、「公の施設として」だれでも利用できる施設として存在し、人々の交流の場であり、目標に向かう場であり、ひいては人格形成の場でありたいと考えています。

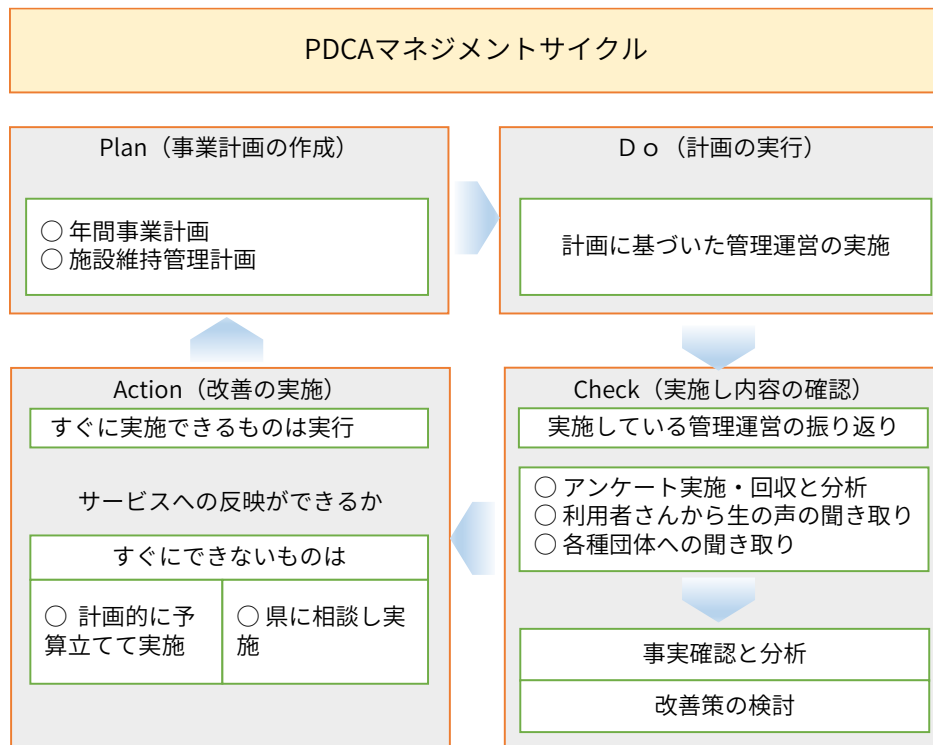
そして、利用される方々の「人生を豊に生きる」ことに寄与したいと考えます。そのためにも幼児から高齢者、障がいのある方々など思い思いの利用に対して応えて行かなければなりません。

また、トップアスリートの育成・養成の場としても関係法令を遵守し、許された範囲内で場所、サービスを提供できるよう施設の管理運営をしております。県民の健康づくり、障がい者水泳の普及、アスリートの競技力向上などスポーツ振興に寄与し、だれもが水泳を楽しめるサービスの提供を企画することで、スポーツとしての水泳、また健康増進・維持としての水泳ができ、人として成長する場や交流の場としての水泳場となるよう努めてまいります。



② PDCA サイクルで検証します

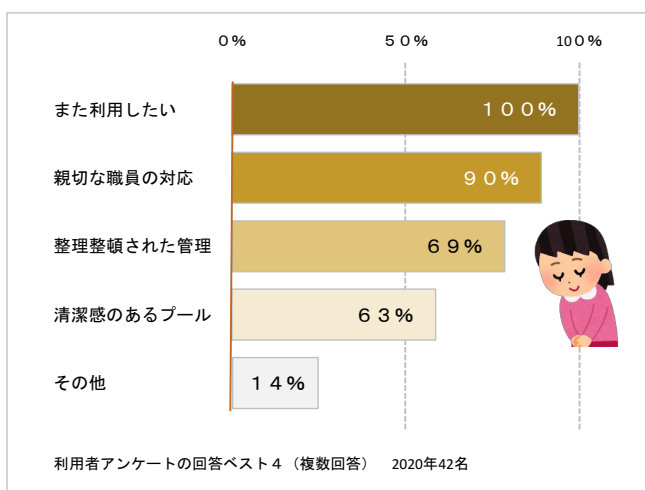
日常業務実績の記録をもとに月別業務報告書を作成し、毎月県に報告します。利用者実績、収入状況、実施工事、実施工事等施設の状況を正確に報告します。なお、事故等が生じた場合は、すぐに県スポーツ課と県水連に連絡し、後に、報告書で確認します。



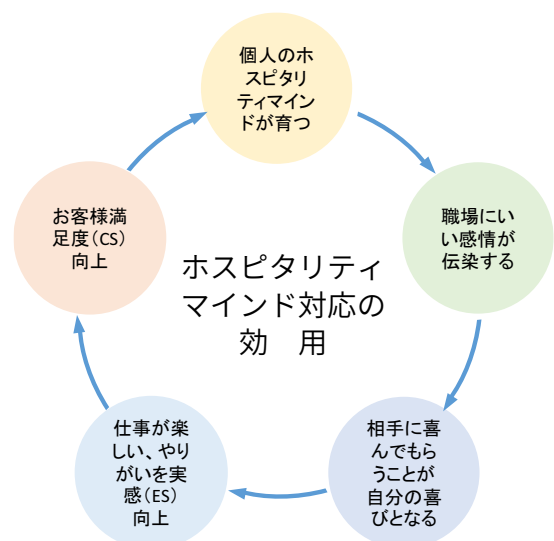
③ 受付・案内について

ア 接客はホスピタリティあふれる態度で対応

私たちは、「マルチスタッフ」の形態で誰でも、どこでもこなせる形で、水泳場を運営してまいります。スタッフは水泳場を利用される方とあらゆる場面で接触することが考えられます。利用者との信頼関係を深め、明るく爽やかな水泳場とするため、いつでも利用者の方に寄り



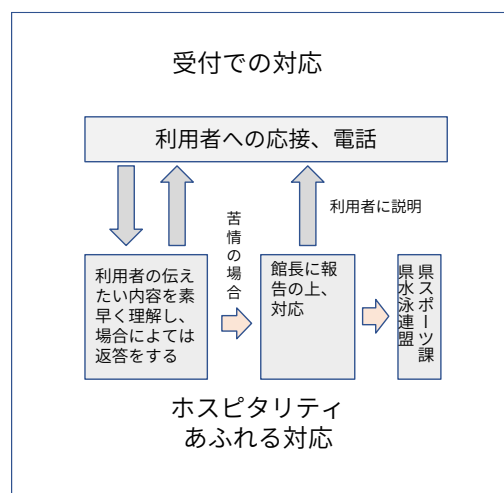
県営東山水泳場の印象や感想



添ったサポートが行えるようホスピタリティあふれる態度で接します。より一層、接客研修などによりスタッフのホスピタリティの向上を目指します。

利用者への応接、電話での問い合わせ等について、迅速かつ適切に対応します。

また、施設の利用等について、利用者、住民から苦情のあった場合は、適切な対応を行い、その内容を随時、県スポーツ課、県水連に報告します。



イ 東山水泳場の表記を誰にでもわかりやすくユニバーサルデザイン化します



④ 年間を通じたスタッフのマルチジョブの主な内容

私たちは、経営効率を一層高めるために職員全員がすべての業務を行う「マルチジョブ方式」で管理、運営をします。1年間の主なマルチジョブの内容です。

施設名	マルチジョブの内容	正規職員	臨時職員
開場			
設備			
	ボイラーの点火	○	
	水質及び室温の測定（9時、13時、17時）	○	
	プール内の塩素濃度とpHの測定（9時、13時、17時）（塩素補充）	○	
	水中トラップの設定	○	○
屋内清掃			
	玄関の清掃（掃除機、掃き掃除）	○	○
	トイレの清掃（便器清掃、トイレトーパー補充等）	○	○
	フロアと階段のモップ掛け	○	○
	更衣室の清掃（トイレ、シャワー室、排水溝）	○	○
	忘れ物調査	○	○
	除菌（玄関、下足ロッカー、更衣室ロッカー、ソファ、机観覧席、パイプ椅子）	○	○
	プールロボットのフィルター清掃（屋内外）	○	○

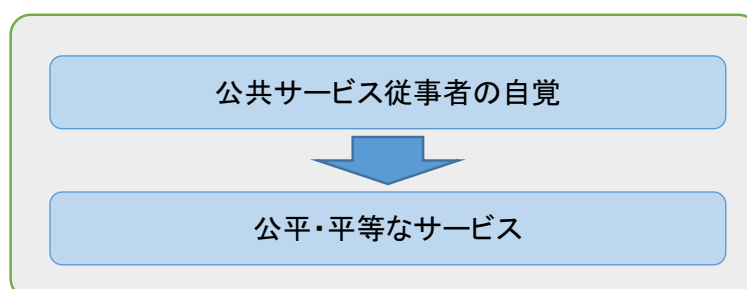


	利用者のための貸し出し用具の準備（時計、ビート板、ヘルパー、プルブイ）	○	○
	巡回（朝、監視員業務の後）	○	○
屋外清掃			
	監視員による巡回（プールサイド清掃、貸し出しゴーグル、スイムキャップの整理整頓）	○	○
事務処理			
	鳥取県スポーツ課の依頼事項への対応	○	
	契約業者との打ち合わせ（塩素、ケイ素度の発注、設備のメンテナンス）ろ過機始めと終了時の（メンテナンス依頼）	○	
	修繕箇所の業者との打ち合わせ（50万円以上3社見積もり）	○	
	シフトの管理（正規職員、臨時職員）	○	
	受付業務（案内、入場チケットの発券、回数券販売、減免対応、専用利用、教室入会等手続き、電話対応）	○	○
スイミング教室指導			
	スイミング教室準備（水深台セッティング）	○	○
	2.5m完泳を目指すクラス（幼児から小学生低学年）	○	○
	4泳法のタイムクラスを目指すクラス（小、中学生）	○	○
	マスターズクラス（成人対象）	○	
	育成コース（小学生、中学生）	○	
	選手コース（全国大会、国際大会及びオリンピック）	○	
	パーソナルレッスン（子供、成人、高齢者）	○	○
終了業務			
	ボイラーの停止	○	
	設備機器の停止	○	
	塩素及び珪藻土の補充	○	○
	更衣室及びトイレの清掃	○	○
	プールサイドの清掃及び水切り	○	○
	プールロボットの設定	○	○
	水中タラップの引き上げ	○	○
施設			

⑤ 公平、平等な利用の確保の考え方

ア 公の施設であることを念頭に置いて、公平な利用を確保しながら適切な管理運営を行います。また、特定の団体等利用者に有利あるいは不利になるような運営はしません。

利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めていくとともに利用促進に努め



ます。

公平、平等な利用を確保する主な対応
① 条例・規則に基づく公正な利用
② ホスピタリティあふれる態度での接客サービス
③ 運動が苦手な方でも参加しやすい取り組み
④ 幼児から高齢者、障がい者等、幅広いニーズへの対応
⑤ バリアフリーな施設づくり
⑥ わかりやすく伝わりやすい情報の提供

イ 私たちは、県と密接に連携を図りながら、管理運営を行います。プールの貸し出しについて、鳥取県社会体育施設条例に従い貸し出しを行います。

施設	区分	申込受付開始日
プール	専用利用の場合	利用3ヶ月前から
	一般利用の場合	利用日当日

- (ア) 各種大会、行事が円滑に開催されるよう、区分に応じて使用受付を行います。
- (イ) 県の使用にあたっては（ア）の受付期間前であっても受け付けを行います。
- (ウ) 利用に係る事務は迅速に行います。
- (エ) 東山水泳場の利用の許可に当たっては、鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例（昭和39年鳥取県条例第24号。）に規定する行為の制限等の規定の遵守及び利用制限に該当する利用でないことを誓約していただくとともに、鳥取県警察本部への照会がなされる場合があることについて、利用書に明記するようにします。
- (オ) 水泳場では、特に天候や気温など外的要因や利用者の数や使用方法、施設・設備の充実など内的要因によってその利用の快適性が左右されます。私たちは、そのような状況をいち早くキャッチし、長時間の利用にも快適に使用いただけるよう環境を整えていきます。

一般利用の場合	<ul style="list-style-type: none">・同一のコース利用になった場合、気持ちよく一緒に泳げるよう話し合っ利用していただきます・場内の雰囲気良くなるようBGMを流すようにします
専用利用の場合	<ul style="list-style-type: none">・他の方が間違っ入らないよう、表示をきちんと行います・大会の場合、選手が気持ちよく泳げるよう会場の環境を整えます



⑥ 収入確保と経費の節減

収入を増やし財政基盤を安定させて水泳場を管理運営していくためには、次の3つの項目について努力していかねばなりません。また、経費の節減については、できる限り出費を抑えることが必要です。

ア 入場者数による利用料収入を増やします

入場者数を増すためには、利用者にとって魅力ある水泳場でなければなりません。そのためにも「スタッフの丁寧な対応」「安全で清潔な施設」「利用者が必要とする運営」を行うことが大切です。私たちは、それらを遂行できるよう努力します。

職員の丁寧な対応	安心して使用いただけるよう、誰にでも分りやすく丁寧な対応をします
安全で清潔な施設	職員の日々のマルチジョブにより館内の清潔さ・安全を守ります
利用者が求める運営	多くの方のニーズを捉え、サービスの在り方など経営に反映していきます

イ 自主事業の会員を増やし、収入を増やします

自主事業であるスイミングスクールは、会員を増やすことが最も直接的に収入を増やすことにつながります。グラフが示しているように少しずつですが右肩上がりになっています。引き続き会員を増やすことに努めます。

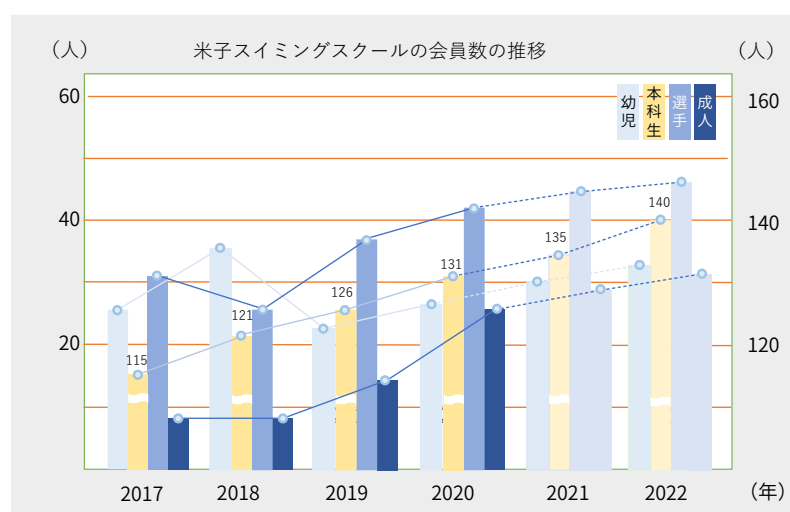
それには、

- ① スイミングスクールのコーチの指導法の向上
- ② 月謝の適正化
- ③ 施設の清潔感と充実
- ④ 会員の泳力に適したクラスの設定

など色々な要素が利用

者のニーズにマッチすることが必要です。

私たちは、お客様のニーズに即したサービスができるよう①～④の観点に関し、最善の努力をし会員の増員に努めます。

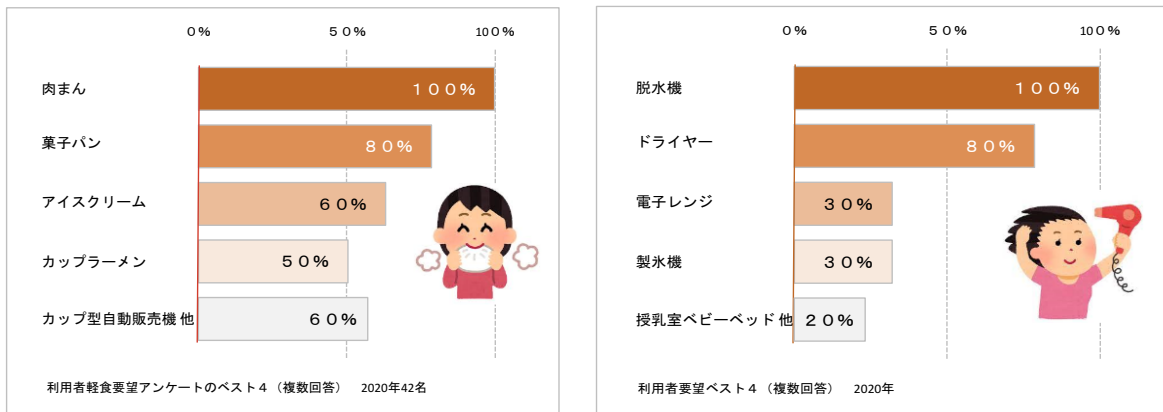


ウ 自動販売機等、販売サービスでの利用者利便性向上について

自動販売機の増設により来場者の利便性の向上を図ることが収益の向上につながります。



利用者アンケートより、水泳場に対する要望として次のようなものがあります。



(ア) 利用者の利便性を考え自動販売機の台数を増やします。

自動販売機の設置については、設置業者、販売物等を業務報告書に記載し、県に報告します。その他、必要事項は県の仕様書に従って行ってまいります。

場 所	現在の自販機設置台数	増設した後の自販機設置台数
ホール1	ジュース販売機 2台	ジュース販売機等 3台
玄 関	アイスクリーム販売機 1台	アイスクリーム販売機 1台
屋 外	ジュース販売機 1台	ジュース販売機等 2台

(イ) ホール1をフードコートとし、食べ物、お茶等を温めるための電子レンジを設置します。

利便性を高めるため	フードコートに電子レンジの設置
-----------	-----------------

(ウ) ホール1から50mプールにつながる軒下を利用者の利便性を考え、フードコートとします。

リラククス効果を高めるため	フードコートを拡張し、テーブルを設置
---------------	--------------------

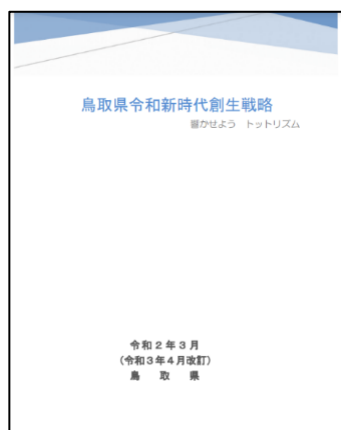
(エ) 更衣室にドライヤー、脱水機を置くよう努めます

利便性を高めるため	更衣室にドライヤー、脱水機の設置
-----------	------------------



⑦ 環境に配慮した管理

ア 私たちは、今後の社会を見据え鳥取県が策定した、2030年の鳥取県の姿6項目を実現することに向けて取り組んでまいります。また、同時に鳥取県でも政策課題にあげている国際社会共通の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向け、特に私たちの活動に関連する下記のアイコンの目標達成に努めます。



第4章 2030年の鳥取県の姿

- 1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく
- 2 つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る
- 3 守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ
- 4 楽しむ いきいきと楽しみながら充実した生活を送る
- 5 支え合う お互いを認め、尊重して、支え合う
- 6 育む 次代に向けて、躍動する「ひと」を育む

参考資料 鳥取県令和新时代創生戦略 重要業績評価指標（KPI）一覧

鳥取県令和新时代創生戦略より



- 将来ビジョン改訂時に想定していた社会変化の進展速度や将来の姿の実現度などの状況に応じ、柔軟に追加、修正を行います。

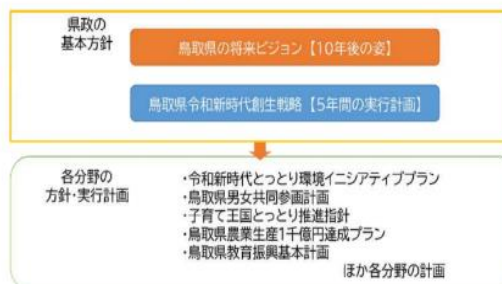


図1 将来ビジョンと各計画の関係図

鳥取県の将来ビジョンより



関連する「SDGs（持続可能な開発目標）」



イ 持続可能な開発目標「SDGs」に向けた取り組み

SDGs(エスディーゼズ)Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、持続可能な世界を実現するための17の国際目標です。


鳥取県の最重要課題として取り組まれています。私たちは、関係する7項目についてはもとよりその他の項目についても取り組んでいきます。



関連する「SDGs(持続可能な開発目標)」

SDGsのゴール	主なKPI	アイコン
③保健 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し福祉の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・プール利用により体力・健康の増進 ・目標を持つことでアクティブな生活 ・精神的な安定 	
④教育 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・人としての礼節を習得 ・目標を持つことのチャレンジ ・時間の効率的な使い方を学の実践 	
⑤ジェンダー ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも尊重できる態度の醸成 ・あいサポート運動の推進と共生社会の実現 ・スポーツを通しての意識改革 	
⑥水・衛生 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保	<ul style="list-style-type: none"> ・水のはたらき、大切さを学ぶ ・節水に周知 ・新型コロナウイルス感染防止のシステムの確立 	
⑦エネルギー 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ガスの節減に努め二酸化炭素排出の低減に寄与 	
⑧経済成長・雇用 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人々のプール使用の促進 ・高齢者雇用 	



<p>⑰実施手段 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップの活性化</p>	<p>・とっとり SDGs 宣言に賛同し、取り組み団体としての申請</p>	
---	---------------------------------------	---



鳥取県令和新时代創生戦略とSDGsとの対応関係

基本方針		SDGsの17のゴール																
		①貧困	②飢餓	③保健	④教育	⑤シエンダー	⑥水・衛生	⑦エネルギー	⑧経済成長・雇用	⑨イノベーション	⑩不平等	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑭海洋資源	⑮陸上資源	⑯平和	⑰実施手段
豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる	観光・交流			○	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○
	農林産業		○		○				○	○		○	○		○	○		
	エコスタイル			○	○		○	○		○		○	○	○	○	○		
人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む	出会い・子育て	○		○	○	○			○			○					○	○
	人材とっとり		○	○	○	○			○	○	○	○				○	○	○
	支え愛		○	○	○				○	○		○						○
幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ	移住・定住			○	○		○		○			○	○					○
	働く場		○	○	○	○			○	○	○	○						○
	まちづくり			○	○				○	○		○					○	○

鳥取県令和新时代創生戦略より

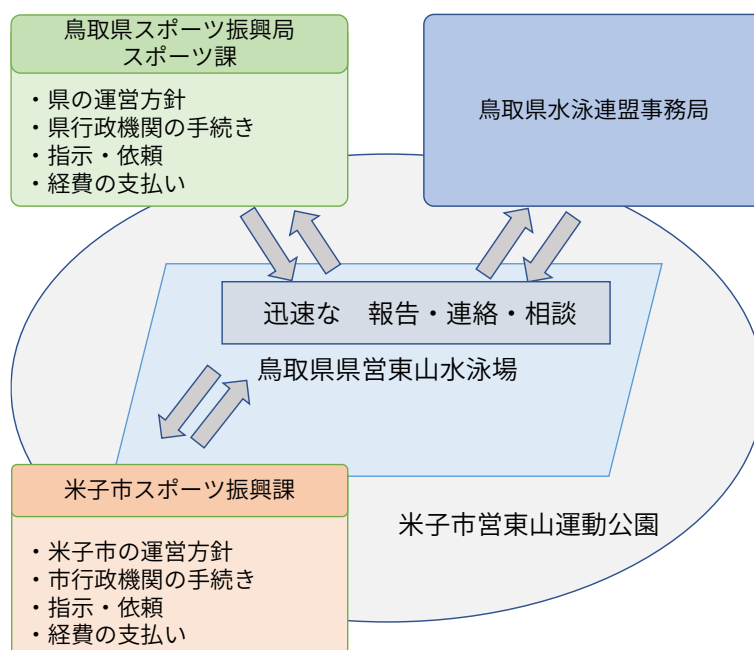
- ウ 省エネルギーに努め、廃棄物の発生を抑制、環境に配慮した管理をおこないます
水泳場では特に、「水」「電気」「ガス」が最も大きな支出となり、これらの支出を抑えることが管理費を削減するうえで大きな要素となります。
環境に配慮した活動は、パリ協定により世界的に取り組まれています。日本は、2030 年度までに 2013 年度比で 26%の CO2 削減を目標としています。
近年の気候変動により、国際社会は CO2 削減目標の引き上げなどの気運もますます高まっており、「2050 年のカーボンニュートラル実現」を目指す動きが国際的に広まっています。
2021 年 1 月 20 日時点では、日本を含む 124 か国が、2050 年までのカーボンニュートラル実現を表明しています。
鳥取県では、環境の保全および創造に関する取り組みを推進することを目的とする、第 2 次鳥取県環境基本計画が策定されました（平成 24 年 3 月策定）。この計画に基づき、県の中核的施設として、職員だけでなく利用者にもご協力いただき、県と一体となって取り組みます。



対象物		具体的な行動	対応アイコン
水	プールの水量	・適宜必要量のみ給水する	
	シャワー	・無駄遣いしないよう表示による注意喚起	
	プール掃除	・EM 菌使用により科学洗剤等の使用を最小限にする	
	トイレ用水など	・節水型便器に適宜交換する	
電気	室内照明用	・光源のLED化を進めるとともに必要最小限の使用とする	
	ろ過機動力用	・タイマー操作で水質が保てる最小限にする	
	室内空調用	・室温設定 28℃を保つよう調整する	
	プール空調用	・室内温度計で 32℃以下を保つよう細かく調整する	
ガス	プール加温用ボイラー	・水温を 30℃を保つよう調整する	
廃棄物	一般廃棄物	・持ち帰りを原則とし表示で啓発する	
	ジュース缶、ペットボトル	・自動販売機で購入したものはその場で回収	

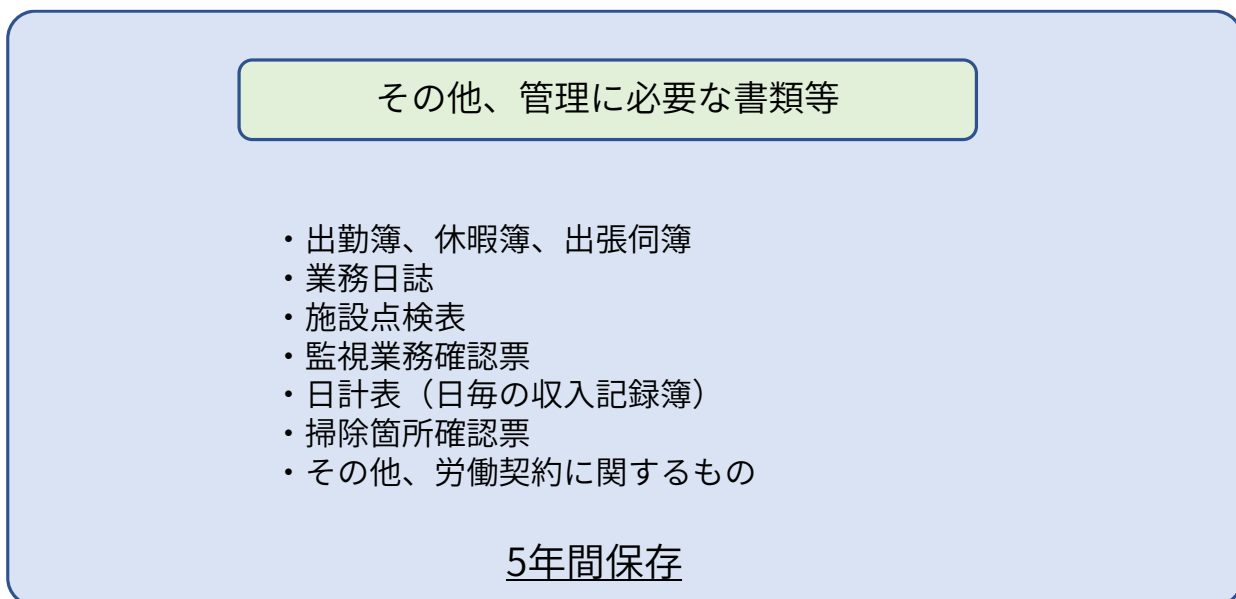
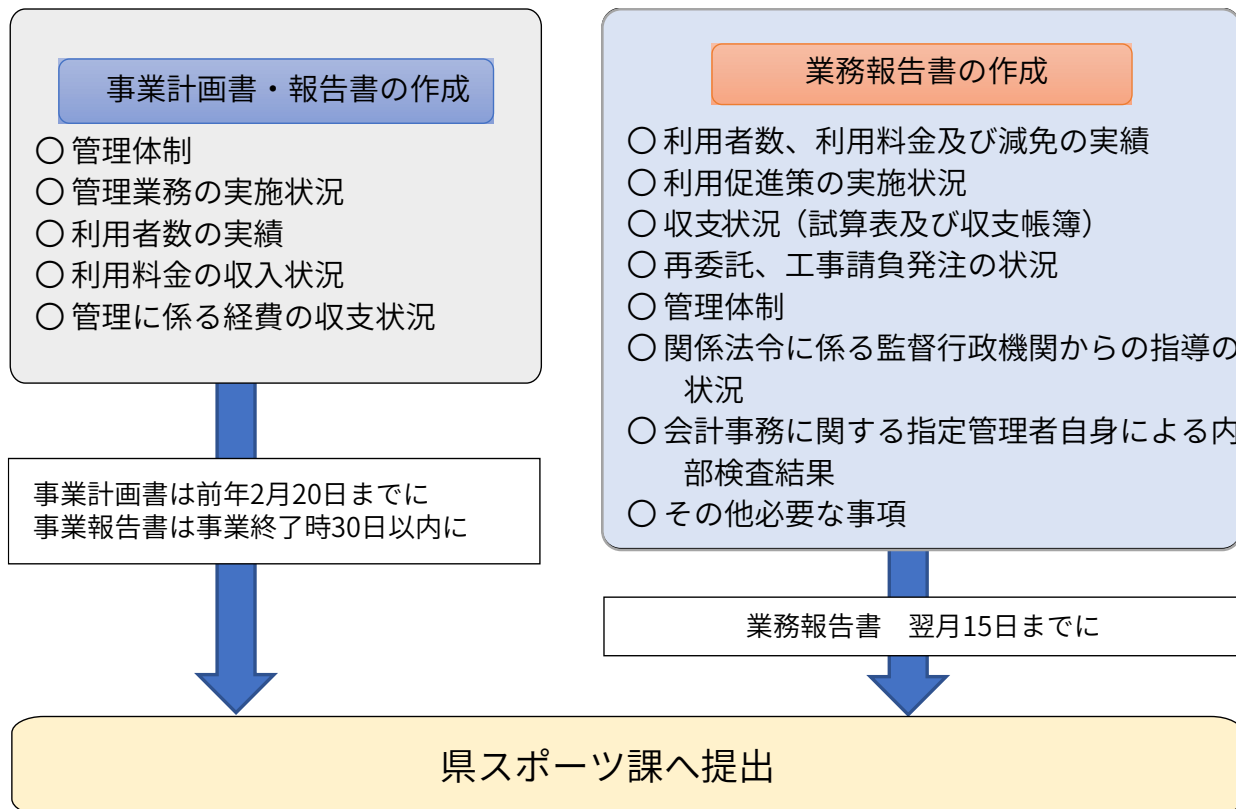
⑧ 県、米子市など行政機関密接な連携

鳥取県営東山水泳場は、緑多い米子市東山運動公園の中にある唯一の県営施設であり、特異な存在といっても過言ではありません。それ故、水泳場の監督庁の「県スポーツ課」と運動公園の管理運営をしている「米子市（米子市スポーツ振興課）」との連絡調整はあらゆる場面で必要となります。日ごろより県と米子市双方と県水連事務局との緊密な連携に心がけていきます。



(4) 収入収支に係る帳簿、証憑書類について

指定管理の委託事業を行う上で、県との密接な連絡調整は欠かせません。私たちは適宜「報告、連絡、調整」を密に行っていきます。収入支出に係る帳簿、証憑書類は整理し5年間保存をします。



(5) 他の施設管理の実績

共同企業体として、指定管理に携わってきた実績についてまとめています。

① 一般財団法人鳥取県水泳連盟

ア 一般財団法人鳥取県水泳連盟の管理実績

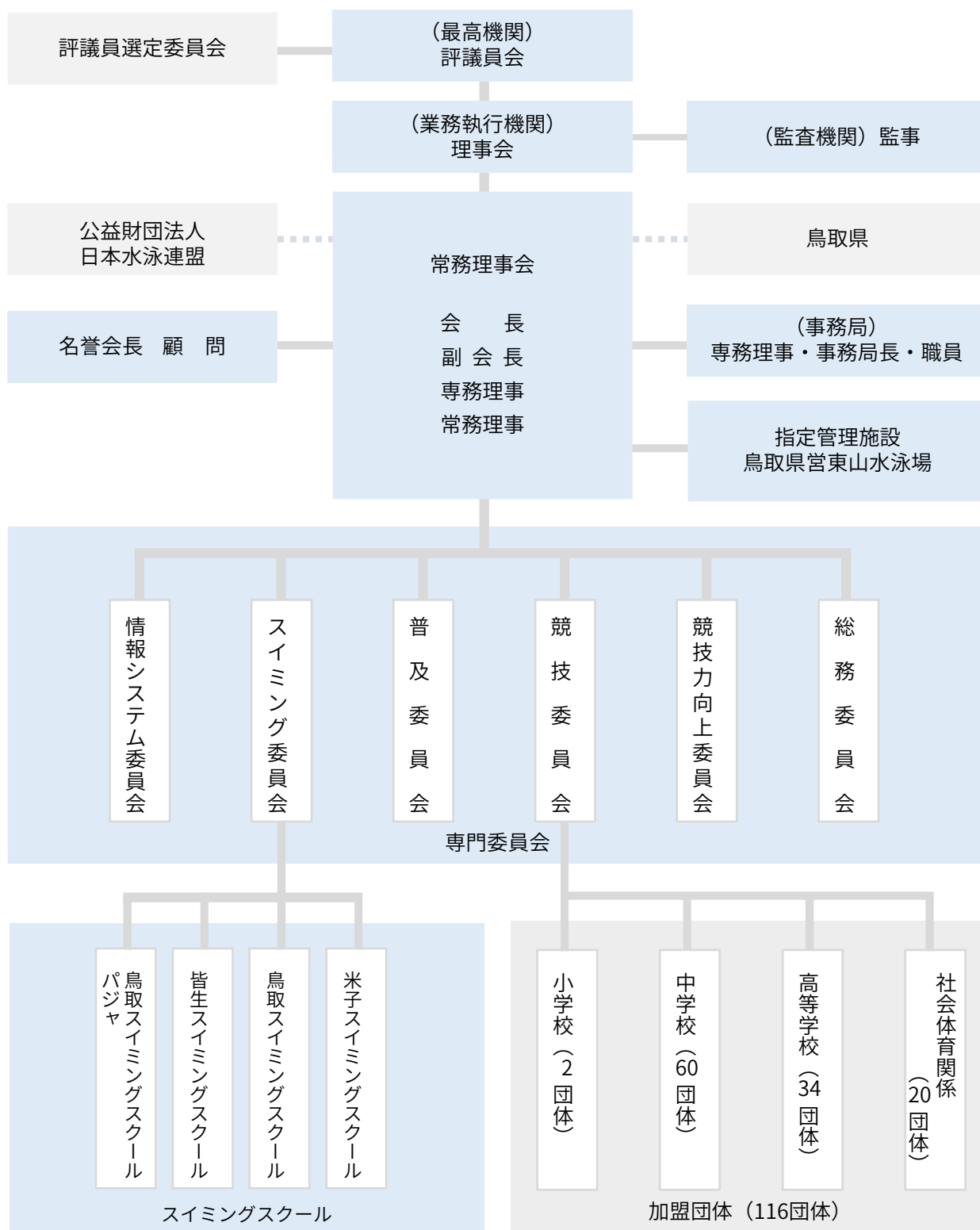
No	管理実績施設名	備 考
1	鳥取県営東山水泳場 管理実績 平成 23 年 5 月 1 日から令和 3 年 8 月現在に至る 指導実績 昭和 58 年から令和 3 年 8 月現在に至る	
2	県営鳥取屋内プール 指導実績 昭和 55 年から令和 3 年 8 月現在に至る	
3	米子市皆生市民プール 指導実績 昭和 58 年から令和 3 年 8 月現在に至る	
4	フィットネスクラブパジャ鳥取 指導実績 平成 17 年 5 月から令和 3 年 8 月現在に至る (ジュニア部門のみ)	

イ 県水泳連の組織と基本方針

本連盟は、長年にわたり鳥取県の水泳界を統括、代表する団体として水泳及び水泳競技（「競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、日本泳法及びオープンウォータスイミング」以下同じ）の健全な普及、発展を図り、「もって鳥取県民快泳の実を挙げ、県民の心身の健全な発達に寄与すること」を基本方針として取り組んできました。現在も、鳥取県を代表し、各種大会の企画・運営を行うとともに鳥取県営東山水泳場を拠点とし、選手強化に努め、また、スイミングスクールを経営し広く県民快泳の一助を担っています。次期指定管理期間も引き続き関係団体と連携し施設管理と一体となったスポーツ振興に取り組めます。

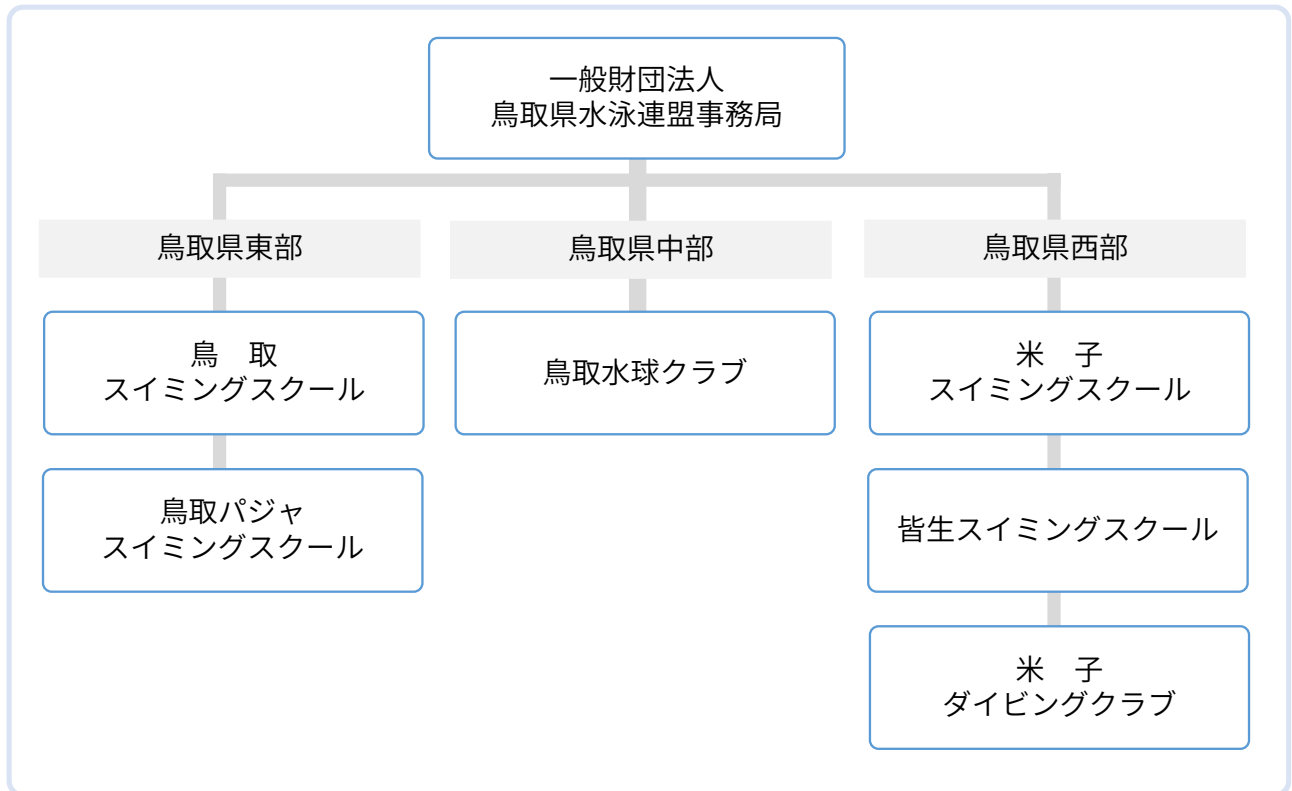


一般財団法人鳥取県水泳連盟組織図



ウ 一般財団法人鳥取県水泳連盟スイミング配置図

県水連は6つの関係するスイミングスクールを開設、経営しています。鳥取県東部、中部、西部に配置し、幼児から学生、成人までの泳力向上、健康維持、体力増進、選手強化など幅広い目的に応じて展開しています。



- 県内水泳の普及振興
- 県内水泳の競技力向上
- 生涯水泳・楽しみの水泳
- 県民の健康維持・増進



エ スポーツ施設の管理運営に精通した人材

私たちは、オリンピック、国際大会、国民体育大会、全国大会などで活躍するアスリートや様々な水泳指導を行うことができる人材を要しており、これまでに有能な選手をたくさん送り出しています。

水泳連盟職員保有資格

水泳・スポーツに関する資格	その他の資格
(公財) 日本スポーツ協会公認コーチ 1	安全衛生推進者
(公財) 日本スポーツ協会公認コーチ 2	防火管理者
(公財) 日本スポーツ協会公認コーチ 3	内燃気自動車運転士
(公財) 日本スポーツ協会公認コーチ 4	日商簿記検定 3 級
(公財) 日本スポーツ協会スポーツ指導員	高等学校教諭一種
(公財) 日本スポーツ協会公認水泳教師	中学校教諭一種
(公財) 日本スポーツ協会公認基礎水泳指導員	小学校教諭二種
(公財) 日本水泳連盟委嘱検定委員	不当要求防止責任者
(公財) 日本水泳連盟公認プール測量士	第 3 級陸上特殊無線技士
(公財) 日本水泳連盟 A 級公認審判員 (競泳競技)	
(公財) 日本水泳連盟 B 級公認審判員 (競泳競技)	
(公財) 日本水泳連盟 C 級公認審判員 (競泳競技)	
(公財) 日本水泳連盟公認審判員 (水球競技) 2 級	
(公財) 日本水泳連盟公認審判員 (水球競技) 3 級	
(公財) 日本水泳連盟公認審判員 (飛込競技) A 級	
(公財) 日本水泳連盟公認審判員 (飛込競技) B 級	
(公財) 日本水泳連盟公認審判員 (飛込競技) C 級	
(公財) 日本障がい者スポーツ協会 初級障がい者スポーツ指導員	
(公財) 健康・体力づくり事業団健康運動実践指導者	
(公財) 鳥取県スポーツ協会 公認トレーナー	



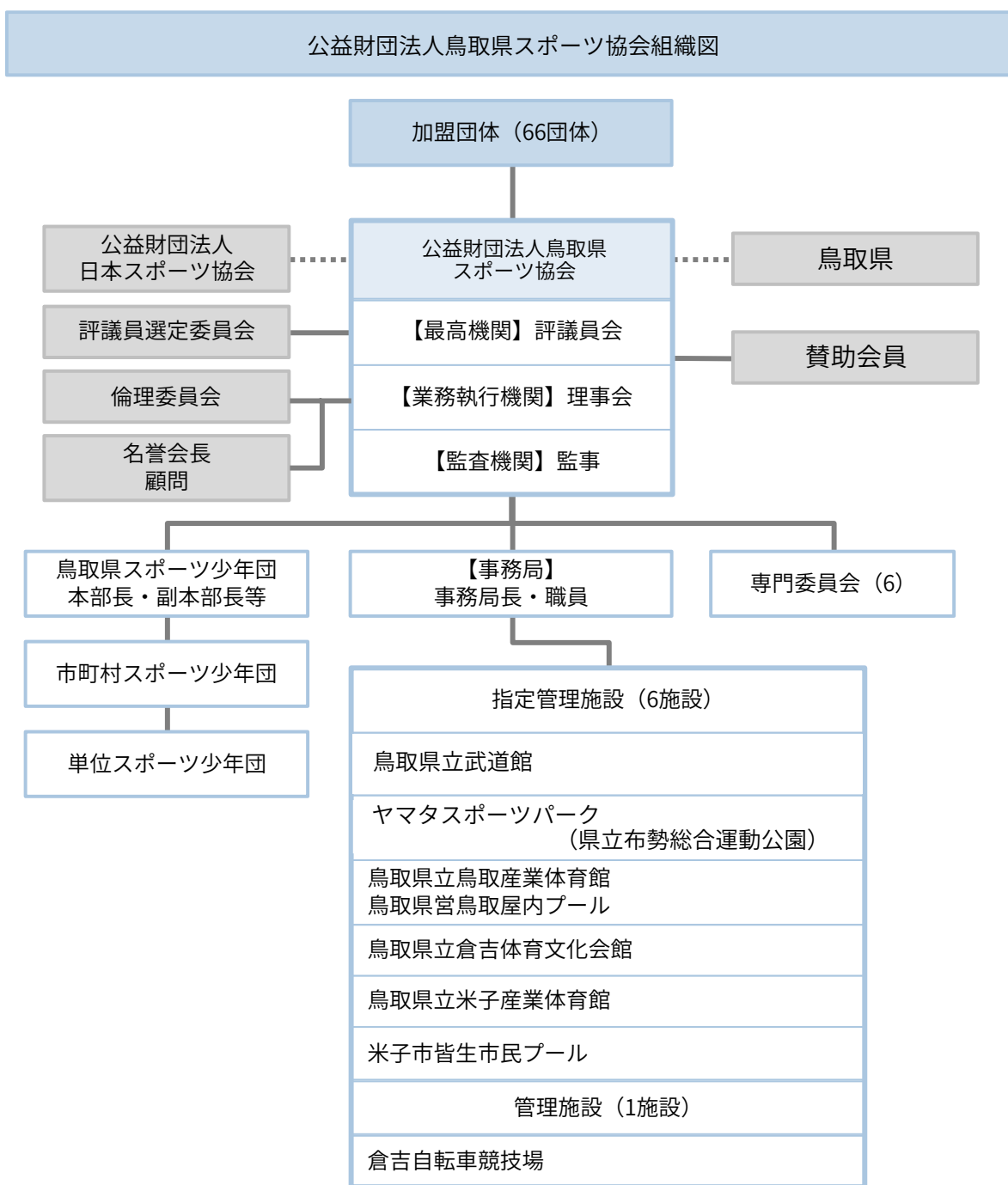
② 公益財団法人鳥取県スポーツ協会

ア 公益財団法人鳥取県スポーツ協会の管理実績

No	管理実績施設名	備 考
1	米子市皆生市民プール 管理実績 平成12年から令和3年8月現在に至る	
2	県営鳥取産業体育館 鳥取屋内プール 管理実績 平成11年から令和3年8月現在に至る	
3	ヤマタスポーツパーク (県立布勢総合運動公園) 管理実績 平成7年から令和3年8月現在に至る	
4	県立倉吉体育文化会館 管理実績 平成11年から令和3年8月現在に至る	
5	県立武道館 管理実績 平成12年から令和3年8月現在に至る	
6	県立米子産業体育館 管理実績 平成21年から令和3年8月現在に至る	



イ 公益財団法人鳥取県スポーツ協会組織図



(6) 鳥取県営東山水泳場のあゆみ

鳥取県営東山水泳場は、昭和 58 年にオープンし、昭和 60 年の「わかとり国体」会場として使用されました。50m屋外プールと 25m室内温水プールを擁し、屋外飛込プールも併せ持っています。これまでも全国大会、ブロック大会、県内大会など数多くの大会が開催され、多くの一般県民の利用がありました。また、このプールで育った選手が、競泳・飛込の全国大会、国際大会で活躍しています。

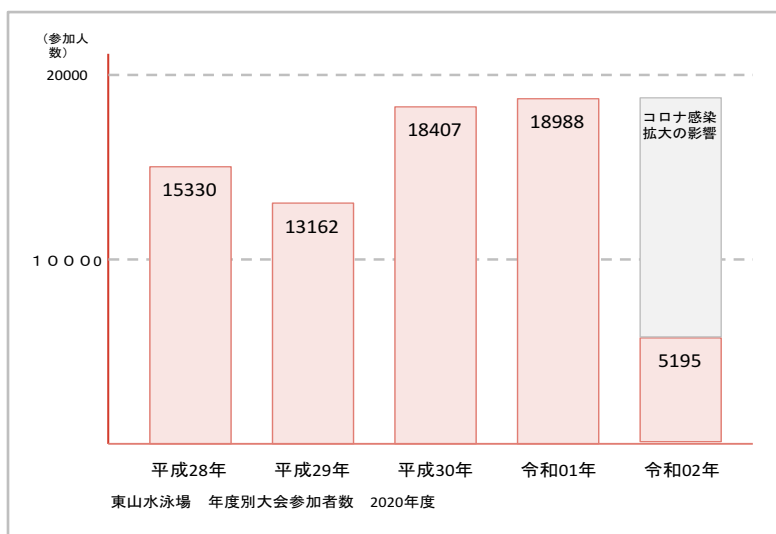
昭和 58 年	米子市営東山水泳場としてオープン
昭和 59 年 8 月	第 24 回全国中学校水泳選手権大会を「わかとり国体」のリハーサルとして開催
昭和 60 年 9 月	第 40 回国民体育大会「わかとり国体」開催
平成 7 年 8 月	平成 7 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技の部開催
平成 11 年	第 75 回日本選手権飛込競技開催
平成 13 年 8 月	第 41 回全国中学校水泳選手権大会開催
平成 18 年 4 月	米子市営東山水泳場が指定管理者制度を導入し、民間企業に管理運営が移管される
平成 23 年 4 月	米子市から指定管理者が（一財）鳥取県水泳連盟に移管される
平成 27 年 11 月	米子市営から鳥取県営になる

① これまでに東山水泳場で開催した主な水泳競技大会

私たちは、これまで数多くの全国大会、ブロック大会等を開催し、多くの実績を残してきました。

これらすべての大会は会場準備、機器の準備等はすべて東山水泳場のスタッフにより行ってきました。引き続き各種大会が開催できるよう、施設・設備の環境を整えていきます。

水泳大会参加者数の推移



大会名		対象者・内容
1	全国中学校水泳選手権大会（過去2回開催）	中学生の全国大会
2	わかとり国体	都道府県対抗、中学生以上
3	全国高校総体水泳競技の部	高校生の全国大会
4	中国五県対抗水泳競技大会（5年に1度）	ジュニア層、中高生の競技力向上を目指す
5	中四国学生選手権水泳大会	中四国の大学生参加
6	中国地区高等専門学校学校体育大会（競泳）	中国地区の高等専門学校生の参加
7	中国高等学校水泳選手権大会（5年に1度）	インターハイ出場をかけた大会
8	中国中学校水泳選手権大会（5年に1度）	中国5県の選手の競技力向上を目指す
9	鳥取県障がい者水泳競技大会	障がい者の全国予選会
10	鳥取県マスターズ大会	県マスターズ協会が行う18歳以上が参加
11	鳥取県高等学校総体（水泳競技の部）	インターハイ県予選・高校生
12	鳥取県中学校総体（水泳競技の部）	全国中学校水泳選手権大会県予選・中学生
13	鳥取・島根両県対抗水泳競技大会	両県のジュニアから高校生まで参加
14	各種一般財団法人鳥取県水泳連盟主催大会	ジュニア、小中学生、一般の方が参加

東山水泳場で開催した主な水泳競技大会

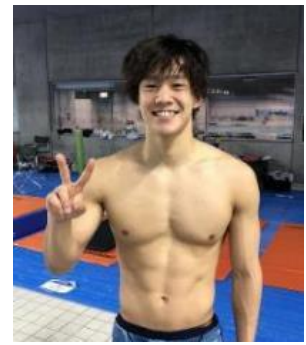
② 東山水泳場を練習会場として強化した選手の記録

東山水泳場を拠点とした水泳強化の成果として、令和3年には本水泳場出身者が競泳競技、飛込競技から2020東京オリンピック代表選手武良竜也選手（競泳）と三上紗也可選手（飛込）を輩出する快挙を成し遂げました。引き続き県内水泳強化の拠点となるようプールの維持管理、使用調整をまいります。

ア 競泳選手の栄光の軌跡

競泳選手は、例年7月下旬から8月上旬にかけ全国中学水泳大会、中国中学水泳大会、全国高等学校水泳大会、ジュニアオリンピック大会、国民体育大会などの出場選手を中心に2週間程度の合宿を行っています。プールの管理者としては、一般利用者と合宿利用者が快適に利用できるようコースの調整をし、強化選手の練習環境を整えるべくプールを管理し、強化事業に協力しています。





2020 東京オリンピック出場 武良竜也選手

大会名・成績	
平成26年	【国民体育大会】 稲垣大智 少年男子B100m平泳ぎ 優勝、落部緋菜子 少年女子B100m平泳ぎ 5位 武良竜也 少年男子A100m平泳ぎ 3位、石田華子 少年女子A200m平泳ぎ 6位 【全国高校】 武良竜也 100m平泳ぎ 2位・200m平泳ぎ 3位、石田華子 100m平泳ぎ 8位 【全国中学】 稲垣大智 100m平泳ぎ 4位・200m平泳ぎ 3位
平成27年	【国民体育大会】 横山 雅 少年女子B50m自由形 8位 【全国中学】 本田海雅 50m自由形 6位
平成28年	【国民体育大会】 本田海雅 少年男子B 50m自由形 3位、落部緋菜子 少年女子A200m平泳ぎ 8位 本田航平 少年男子B100m平泳ぎ 5位、石田華子 成年女子100m平泳ぎ 5位 【全国中学】 本田航平 200m平泳ぎ 3位・100m平泳ぎ 3位
平成29年	【国民体育大会】 本田航平 少年男子B100m平泳ぎ 4位・200m個人メドレー 5位 石田華子 成年女子100m平泳ぎ 3位、平林優花 少年女子B100m平泳ぎ 8位
平成30年	【国民体育大会】 本田海雅 少年男子A100m自由形 6位・50m自由形 2位 平林優花 少年女子A200m平泳ぎ 6位、石田華子 成年女子100m平泳ぎ 2位 【全国高校】 本田海雅 50m自由形 5位・100m自由形 7位、 【全国中学】 宮城歩優 200m背泳ぎ 8位・100m背泳ぎ 8位、柳 遥貴 200m背泳ぎ 5位
令和元年	【国民体育大会】 本田航平 少年男子A200m平泳ぎ 5位、武良竜也 成年男子100m平泳ぎ 3位 平林優花 少年女子A200m平泳ぎ 7位、宮城歩優 少年女子B100m背泳ぎ 4位 石田華子 成年女子100m平泳ぎ 4位 【全国高校】 本田航平 200m平泳ぎ 6位、平林優花 200m平泳ぎ 8位 【全国中学】 宮城歩優 200m背泳ぎ 7位

※ その他、夏季ジュニアオリンピック大会、春季ジュニアオリンピック大会があるが、その成績は除く。





イ 飛込み選手の栄光の軌跡

国民体育大会「わかとり国体」以後、東山水泳場の飛込プールを活用する事業として、米子市開催の飛込教室として続いてきましたが、鳥取県水泳連盟の飛込コーチがボランティアで指導に当たり、世界レベルの選手を輩出しています。なお、この教室は、平成 27 年からは県水連の教室として開催し強化しています。この飛込競技においても悲願のオリンピック出場選手が誕生しました。

※ 表中「シンクロ」＝「シンクロナイズドダイビング」



オリンピックに出場した三上紗也可選手と安田千万樹コーチ

大会名・成績	
平成 26 年	<p>【国民体育大会】</p> <p>清水 咲 少年女子 3m飛板飛込 4 位</p> <p>近藤優妃 少年女子 10m高飛込 8 位</p> <p>前谷健佑 成年男子 10m高飛込 8 位</p> <p>【世界ジュニア選手権】</p> <p>三上紗也可 14-15 女 3m 飛板飛込 8 位</p> <p>【日本選手権】</p> <p>三上紗也可 3m飛板飛込 7 位、10m高飛込 4 位</p> <p>【全国中学】</p> <p>三上紗也可 3m飛板飛込 3 位、10m高飛込 2 位</p>
平成 27 年	<p>【国民体育大会】</p> <p>近藤優妃 少年女子 10m高飛込 8 位</p> <p>【インターナショナル ユースダイビングミート】</p> <p>14-15 三上紗也可 1m 飛板飛込 8 位、3m 飛板飛込 優勝、</p> <p>【日本選手権】</p> <p>清水 咲 1m 飛板飛込 8 位</p> <p>近藤優妃 10m高飛込 8 位</p>



平成28年	<p>【国民体育大会】 安田 舞 少年女子 10m高飛込 6 位 三上紗也可 少年女子 3m 飛板飛込 2 位 近藤優妃 成年女子 10m高飛込 5 位</p> <p>【アジア選手権】 安田 舞 3mシンクロ 2 位</p> <p>【国際ドイツ選手権】 三上紗也可 女 3m 飛板飛込 4 位、10m高飛込 優勝</p> <p>【日本選手権】 安田 舞 1m 飛板飛込 7 位、3m 飛板飛込 8 位、3mシンクロ 優勝 三上紗也可 3m 飛板飛込 6 位、高飛込 3 位</p> <p>【全国高飛込校】 三上紗也可 3m 飛板飛込 優勝、10m高飛込 2 位</p> <p>【全国中学】 前田花奈 3m 飛板飛込 2 位、10m高飛込 4 位 安田 舞 3m 飛板飛込 3 位</p>
平成29年	<p>【国民体育大会】 近藤優妃 成女高飛込 6 位 三上紗也可 少女高飛込 2 位・3m 板 6 位</p> <p>【国際大会派遣選考会】 三上紗也可 高飛込 2 位、3m シンクロ 優勝、3m 飛び板 優勝 安田 舞 3m シンクロ 3 位</p> <p>【日本選手権】 三上紗也可 3m シンクロ 優勝、高飛込 2 位 安田 舞 3m シンクロ 2 位、高飛込 7 位</p>
平成30年	<p>【国民体育大会】 三上紗也可 少年女子 3m飛板飛込 優勝 清水 咲 成年女子 3m飛板飛込 8 位</p> <p>【18回アジア大会】 三上紗也可 3mシンクロ 4 位 3m 飛板飛込 4 位</p> <p>【世界ジュニア】 安田 舞 3m シンクロ 3 位</p> <p>【CAMO】 佐々木音華 12-13 才 10m高飛込 4 位</p> <p>【日本選手権】 三上紗也可 3m 飛板飛込 優勝 安田 舞 3m 飛板飛込 4 位、高飛込 4 位 3mシンクロ 優勝</p> <p>【全国高校】 安田 舞 3m 飛板飛込 2 位、高飛込 6 位</p> <p>【全国中学】 佐々木音華 3m 飛板飛込 6 位</p>
令和元年	<p>【国民体育大会】 安田 舞 少年女子 3m 飛板飛込 優勝 10m高飛込 2 位 三上紗也可 成年女子 3m 飛板飛込 優勝</p> <p>【世界選手権】 三上紗也可 3m 飛板飛込 4 位</p> <p>【日本選手権】 安田 舞 3m 飛板飛込 2 位、3mシンクロ 3 位</p> <p>【全国高校】 安田 舞 3m 飛板飛込 優勝、10m高飛込 2 位</p> <p>【全国中学】 佐々木音華 3m 飛び板 2 位、高飛込 優勝</p>

※ その他、夏季ジュニアオリンピック大会、春季ジュニアオリンピック大会があるが、その成績は除く





2 施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容

(1) サービスの向上策と利用促進に向けた取り組み

活力あふれる鳥取県を目指し、鳥取県では誰もがスポーツを楽しみ、人と人がつながり、健康で心豊かな生活を営むことができるよう「鳥取県スポーツ振興計画」が策定されました。

私たちは、鳥取県が策定した「鳥取県スポーツ振興計画」の4つの柱を中心として運営を行ってまいります。計画は、スポーツが持つ価値を次の4つの観点でまとめています。

「鳥取県スポーツ推進計画」

ア 人生が豊かになる！～生き生きスポーツライフの実現～

⇒ 幸福で豊かな生活の実現に寄与します。

イ 健康になる！～スポーツによる心身の健康づくり～

⇒ 年齢にかかわらず、元気いっぱい健康で豊かな生活と健康長寿と通りの実現に寄与します。

ウ 絆でつながる！～スポーツがつむぐ人と人との絆～

⇒ 人と人がお互いを大切に、深い絆でつながることができる社会の実現に寄与します。

エ 地域の活力が高まる～スポーツが導く地域の活性化～

⇒ 様々な人々との交流を通じて、地域の活力を高め、地域の活性化に寄与します。

【4つの柱】（主要施策）

柱1 県民まるごとスポーツ参加

柱2 誰もがスポーツに親しむ環境づくり

柱3 輝くスポーツ人材の育成

柱4 スポーツによる地域の活性化

柱のイメージと具体策

① 県民まるごとスポーツ

県の設定した取り組み 柱1

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② 子どものスポーツ機会の充実
- ③ スポーツと健康づくり
- ④ 生涯スポーツの推進
- ⑤ 地域におけるスポーツクラブの活動推進
- ⑥ スポーツ未実施者への働きかけ

東山水泳場の取り組み

- ① 県水連競技委員会と協力し、各種公認大会を開催します
- ② スイミングスクール（自主事業）を実施し、会員の加入を促進します
- ③ スポーツと健康について医師を招いた研修会を行います
- ④ 地域の保育園等の授業を誘致します 小学校へ指導者派遣事業を行います
- ⑤ 水泳と健康について広報を行います



ア 県水泳連盟競技委員会と協力し、各種公認大会を開催します

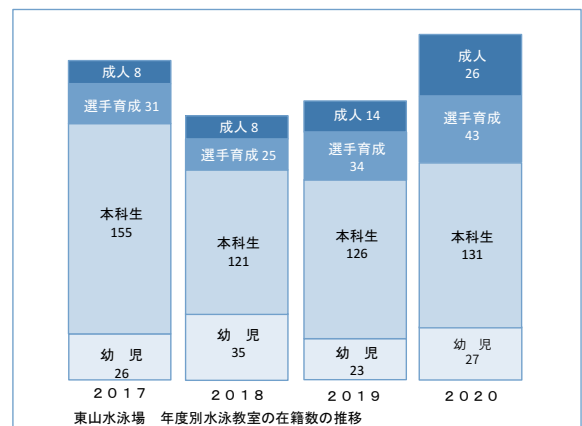
【開催予定大会】

大会名		対象者・内容
1	ねんりんピック（2024年開催予定）	高齢者の大会
2	中国五県対抗水泳競技大会（5年に1度）	ジュニア層、中高生の競技力向上
3	中国高等学校水泳選手権大会（ // ）	インターハイ出場県予選
4	中国中学校水泳選手権大会（ // ）	中国五県の中の競技力向上
5	鳥取県障がい者水泳競技大会	障がい者の全国大会県予選会
6	鳥取県マスターズ大会	県マスターズ協会の県予選会 18歳以上
7	鳥取県高校総合体育大会（水泳競技の部）	中国大会県予選会
8	鳥取県中学校総合体育大会（水泳競技の部）	全国大会県予選会
9	中四国学生選手権大会（数年に1度）	中国地区大学生の大会
10	中国高等専門学校水泳競技大会（ // ）	中国地区高専生の大会
11	各種一般財団法人鳥取県水泳連盟主催大会	ジュニア、小中学生、一般

イ 水泳教室（自主事業）を実施し、会員の加入と泳力の向上に努めます

現在、下記のような曜日、時間帯で水泳教室を実施しています。教室の生徒の加入を促進します。会員は幼児から大人まで募集し、目標や泳力の違いによりクラス編成します。

また、水中運動など楽しむ教室も開催します。



コース	曜日	時間帯	コース	曜日	時間帯
本科生 コース 週1・2・4	月～金	午後4：20～5：20	成人コース 週1・2	火	午後2：00～3：00
		午後5：20～6：20		金	
	土	午後2：00～3：00	育成コース 週4	月～金	午後5：20～6：20
		午後3：00～4：00	選手コース 週6	月～金	午後6：20～7：40
		午後4：00～5：00		土・日	午後5：00～7：00



ウ スポーツと健康について医師を招いた研修会の開催と講演内容の広報をします

地域のスポーツに精通した医師を招いて、スポーツと健康について一般の方、水泳教室会員等対象とした研修会を開催します。また、水泳と健康について広報を行います。「スポーツと健康研修会」の内容を要約したパンフレット等により広報します。

研修会等の情報を広報誌として広報します

エ 指導者派遣事業を行います

西部地区の小学校の体育の授業に職員を特別非常勤講師として派遣し、水泳指導を行っています。今後も、この講師派遣事業を続けます。広く各学校にご案内いたします。



小学校指導者派遣事業の様子

オ 保育園の事業や行事を誘致します

現在、米子市内の保育園が教育プログラムとして水泳を取り入れ、年間を通じて東山水泳場の利用をいただいています。授業参観と保育園の参加日を水泳場で行っています。他の園にも紹介し、利用促進を図ります。



保育園の参観日



保育園授業活用



② 誰もがスポーツに親しむ環境づくり

県の設定した取り組み 柱2

- ① 障がい者スポーツの普及振興
- ② 女性の活躍
- ③ 高齢者の活躍
- ④ 外国人への対応

東山水泳場の取り組み

- ① 障がい者の水泳大会の誘致します
- ② 障がい者スポーツ指導員を計画的に1名ずつ資格取得します
- ③ スイミングスクール・一般利用者へマスタース大会への参加を促します
- ④ 70歳以上の減免制度（無料）の広報と入場資格証を発行します
- ⑤ ウォーキング教室、水中ダンスなど誰でも楽しめる教室を開催します
- ⑥ 東山水泳場の使用の注意事項の表示を4カ国語（日本語、英語、韓国語、中国語）の表記にします

ア 障がい者の水泳大会の誘致開催します

鳥取県障がい者協会と連携し、障がい者の水泳大会を誘致いたします。

イ 障がい者スポーツ指導員を年次計画的に1名ずつ資格取得を行います

現在、障がい者スポーツ指導員が1名在籍しますが、障がい者の方への対応がスムーズに進むよう、1年に1名ずつ養成します。

ウ 私たちの自主事業である水泳教室の大人の会員を増やし、自己目標を達成できるよう支援していきます。また、マスタース大会出場を一つの目標とし出場を促してまいります。

エ 70歳以上の減免制度（無料）の広報と入場資格証を発行します

鳥取県営東山水泳場の利用料減免の取扱要領	減免率
5 70歳以上の者が利用するとき。	
ア 70歳以上の者が一般利用するとき。	10/10
イ 70歳以上の者が社会参加を目的として、専用利用の方法で利用するとき。	
(ア)利用者のうち 1/2 以上が70歳以上の者の場合	10/10
(イ)利用者のうち 1/2 未満が70歳以上の者の場合	1/2

鳥取県営東山水泳場減免利用許可証

氏 名 _____

登録番号 _____

発行日 _____



オ ウォーキング教室、水中ダンスなど誰でも楽しめる教室を開催します

令和元年 10 月より、水泳場入場者の希望者に対し 20 分程度の時間を使って週 1 回、指導料無料の「水中ウォーキング教室」を始めました。大変好評でたくさんの方に参加していただいています。



ウォーキング教室の様子



ウォーキング教室の参加者

令和元年								
月	日	人数	月	日	人数	月	日	人数
10	1	30	11	5	24	12	3	15
	8	20		12	26		10	20
	15	25		19	19		17	16
	22	36		26	25		24	25
	29	20						
計	5	131	計	4	94	計	4	76
令和2年								
月	日	人数	月	日	人数	月	日	人数
1	7	17	2	4	18	3	3	21
	14	22		11	30		10	20
	21	16		18	4		17	14
	28	19		25	22		24	14
	29						31	16
計	5	74	計	4	74	計	5	85
延べ日数			27 回					
延べ参加人数			534 人					



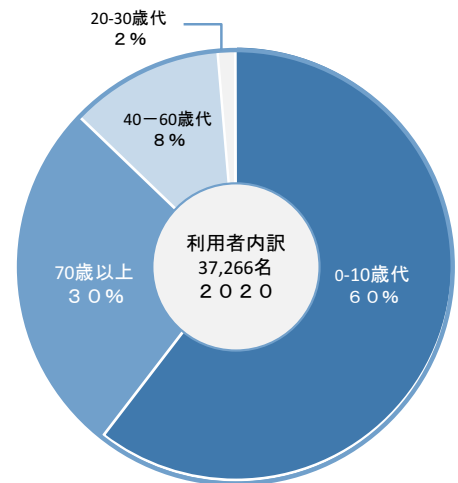
令和元年の実績と参加者集計表と水中ウォーキングを楽しむ参加者たち



来館者の年齢別利用者数、利用理由は主に次のようなものであり、10歳代は「泳げるようになりたい」、高齢者は「健康維持増進のため」であることがわかります。

泳力をつけるためには、スイミングスクール入会を、健康維持、増進を目的の高齢者には初心者でもできる「ウォーキング教室」を勧めます。さらに楽しく体力をつけたい方のために「アクアビクス教室（有料）」を開設いたします。

内 容	
1位	泳げるようになりたい
2位	健康のため
3位	友達の紹介
4位	医者の勧め
5位	痩せたい



カ 東山水泳場の使用の注意表示を4カ国語にしました

東山水泳場の使用上の注意事項を令和2年度に新調し、外国の方が訪れても注意事項がわかるようにしました。使用文字は、日本語、英語、韓国語、中国語です。



日本語	英語
韓国語	中国語



③ 輝くスポーツの人材育成

県の設定した取り組み 柱3

- ① アスリートの発掘育成
- ② 指導者の育成
- ③ 競技力向上のためのスポーツ環境の整備
- ④ クリーンでフェアなスポーツの推進

東山水泳場の取り組み

- ① オリンピアンによる水泳教室を開催します
- ② 各大学、スイミングスクール等の合宿を誘致します
- ③ 県の強化合宿に協力します
- ④ 中学校の部活動の飛込（スタート）指導教室を開催します

ア オリンピアンによる水泳教室

令和元年 10 月 12 日（土） 午後 3 時から 6 時までの間で、オリンピック招へい事業を企画しましたが台風のため止む無く中止しました。しかし、県水連は 2020 東京オリンピック出場者を 2 名輩出しました。彼らの貴重な体験を鳥取県民に伝えるべく彼らを招へいするなど特別水泳教室オリンピック招へい事業を行います。

また、（公財）日本水泳連盟が後援するニチレイチャレンジ特別泳力検定会には日本有数の選手をゲストとして呼ぶことができます。このような機会を生かし水泳に対する関心を高めたいと考えます。

平成29年度 ニチレイチャレンジ特別泳力検定会

10月21日(土)
ANA 385便
鳥取県営東山水泳場
会場での打ち合わせ
17:30予定

10月22日(日)
プール開場 9時00分
ウォーミングアップ 9時00分～9時45分
開会式 10時00分
泳力検定 10時30分～12時00分
特別企画 13時00分～14時30分
特別ゲストの模範泳法、公開指導、サイン会など
(泳力検定参加の皆様への特別企画です)

鳥取県営東山水泳場出発15:30
米子鬼太郎空港 到着16:00
ANA 388便 米子17:00ー羽田18:30
宿泊ホテル

平成 29 年度に実施したニチレイチャレンジ特別泳力検定会日程表

オリンピック招へい事業

令和元年 鳥取県営東山水泳場オリンピックメダリスト招待事業



山形大学 1年 女子選手 100m フラッグ 日本記録保持者
2012年日本選手権 平泳 50m、100m、200m の3種
アジア大会 50m 自由、100m 自由
2013年日本選手権 平泳 100m、200m 優勝
ワールドレインビッド
200m 平泳メダル、200m 平泳メダル、
400m フラッグメダル(日本記録保持者)

高校2年 全国高等学校総合体育大会 100m自由形優勝
2015年夏季ユニバーシアード
男子4・200m (800m) フラッグ1-3位
2016年
日本選手権 男子400m自由形優勝、男子200m自由形3位
リネアジアンズオリンピック
男子4・200m (800m) フラッグ1-1位2泳兼メダル

日 時 令和元年 10 月 12 日（土） 午後 2 時から 5 時まで
場 所 鳥取県営東山水泳場（室内 25m プール）
日 程 午後 2 時 00 分～3 時 00 分 水泳実技指導（各スイミング選出の小中学生 5 名ずつ）
3 時 20 分～4 時 00 分 質疑コーナー
4 時 15 分～5 時 00 分 サイン会・トークショー（他紙、ペンは各自で用意すること）
5 時 00 分 終了

実技参加者について
・各スイミングスクール（選手コース）から小学生 5 名選出し、申込書と共に、学年、指導して欲しい種目を記入の上、FAX 又は電子メールにより、鳥取県営東山水泳場まで提出のこと
・連絡先：鳥取県営東山水泳場
〒682-0031 米子市東山町 92 番地 (TEL・FAX 0859-34-0126)
E-mail swim33@uwa.chukai.ac.jp
申込締切 令和元年 9 月 30 日（月）までに必要のこと
その他
・各スイミングにおいて、実技指導を受ける選手等の引率をすること
・当日は、スイミングの選手、一般の方も無料でご入場、見学が出来ます

令和元年 10 月のオリンピック招へい事業のチラシ



イ 各大学、スイミングスクール等の合宿を誘致します

県内外からの宿泊を伴う合宿は地域の活性化にもつながります。東山水泳場は、使用料も安く宿泊施設も近隣にとることができ、これまでも県内外からの合宿の問い合わせがたくさんありました。表はこれまでの合宿したチームを表したものです。これからも各チームに合宿地として選択していただけるよう心掛けてまいります。

近年合宿に東山水泳場を利用した団体

屋外 50mプール	飛込プール
鳥取県水泳連盟国体合宿	日本体育大学チーム
同志社大学水泳部	東京都（指導者招聘事業）
近畿大学水泳部	島根県チーム
真庭スイミングスクール	広島県チーム
周南スイミングスクール	岡山県チーム
大阪枚方スイミングスクール	和歌山県チーム
倉吉スイミングスクール	高知県チーム

ウ 県の強化合宿に協力します

県水連の強化の1つである「鳥取県選手団の合宿」に協力します。夏のシーズン真っ只中で行われる県水連の合宿は、シーズン後半に開催される全国大会に出場する選手がメインとなります。選手のコンディション作りに協力してまいります。

・県選手団合宿（8月上旬～中旬）

- | | | |
|--|---|------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国中学校水泳競技選手権大会 ○ 全国中学校水泳競技選手権大会 ○ 全国高等学校総合体育大会（水泳競技の部） ○ 夏季JOCジュニアオリンピックカップ ○ 国民体育大会 | } | の出場者 |
|--|---|------|

エ 中学校と連携し部活動の飛込（スタート）指導教室を開催します

現在も近隣の中学校、高等学校に部活動の場として水泳場を利用していただいています。引き続き一般利用者とのコース利用の調整を図りながら中高生の泳力の向上に寄与してまいります。

特に、近年では学校での飛込が安全性を鑑み指導しにくい状況となっています。東山水泳場のプールの状況を熟知し、指導においても熟練したコーチ陣が飛込台からのスタート練習の指導を行います。



・部活動でのコース専用利用

・飛込（スタート）指導教室、泳法指導の開催

・中学生のボランティア活動（会場準備・片付け等）

④ スポーツによる地域の活性化

県の設定した取り組み 柱 4

- ① スポーツと地域の振興
- ② キャンプ・大規模大会の誘致
- ③ スポーツを通じた国際交流の推進

東山水泳場の取り組み

- ① 中海オープンウォータースイム（中海OWS）の開催に協力します
- ② 西部広域行政管理組合消防局の潜水訓練に協力します
- ③ 自主事業として成人の教室の会員増を図ります

ア 中海オープンウォータースイム（中海 OWS）の開催に協力します



NPO法人中海再生プロジェクトが行う「中海オープンウォータースイム」を県水連は後援しており大会運営、大会参加等に協力をしていきます。

2007年「泳げる中海」を目指すとともに、「中海の豊かな自然環境を街の活性化に活かし、さらに市民の憩いの場として中海との共生を日指し、そして市民にとって中海が郷土の象徴として誇れる存在となり、活力ある地域形成に寄与すること」を目的として特定非営利活動法人中海再生プロジェクトが設立されました。

私たちは、このNPO法人が主催する「中海オープンウォータースイム（中海OWS）」に協力して行きます。



イ 鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下、西部消防）の潜水訓練に協力します

西部消防は1年間を通じ個人、団体で水難救助のための潜水訓練を25mプール、50mプール、飛込プールで行っています。私たちは、その訓練に入場は減免措置によって無料とし、また、一般利用者との調整を図りながら、水泳場を提供することで協力しています。



西部広域消防署の水難潜水訓練の様子

ウ 自主事業として成人の教室の会員増を図ります

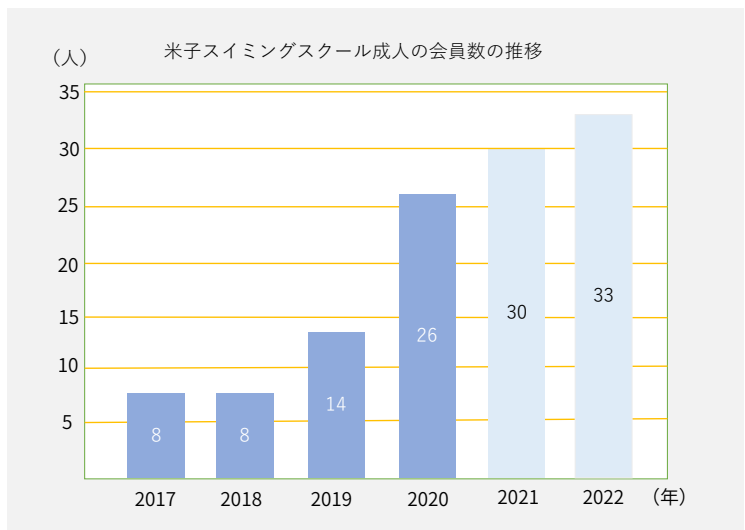
私たちの自主事業である水泳教室の成人の会員を増やし、自己目標を達成できるよう支援していきます。

グラフによると2020年(令和2年)に12名の成人会員の入会がありました。

これは、

- ①スタート練習(飛込)を重視した教室
- ②会員のニーズに即した指導

を展開した成果と考えます。



引き続き、特色ある水泳教室の運営に努めます。

また、マスターズ大会出場を一つの目標とし出場を促してまいります。

- ・ 初心者からの指導
- ・ タイムアップ・スキルアップ
- ・ 飛込スタート練習



(2) これまで取り組んできたサービス向上手段 33 項目について

私たちは、「サービス向上手段」として、これまでの5年間の33項目を基本方針として実施してきました。この取り組みを振り返り、さらなる取り組みに発展させていきます。

1 利用者とのコミュニケーション重視



- ・積極的なコミュニケーション
- ・要望・クレームに迅速対応
- ・利用者のニーズにあった管理

2 快適な空間の提供



- ・定期的館内巡回（ロビー・更衣室）
- ・きめ細かな清掃
- ・室温管理等
- ・日常的施設・設備の点検補修の徹底

3 最適な水温管理の徹底



- ・定時の水温測定
- ・プール入水で快適性を確認

4 最適な水質の管理



- ・利用者目線でのゴミ拾い
- ・日常の管理の徹底

5 快適で衛生的な更衣室



- ・定期的な水の除去
- ・足拭きマットの設置
- ・シャワー室用タオル置き場の設置
- ・更衣室の衛生管理の徹底

6 快適で衛生的なトイレ



- ・日常の清掃の徹底
- ・きめ細かな点検、補修
- ・快適で衛生的なトイレ

7 人に優しいサイン計画



- ・大きな表示の案内板
- ・ユニバーサルデザインの導入

8 車いすの安全な使用



- ・車椅子の定期的安全点検
- ・車椅子設置場所を分かりやすい玄関に



9 血圧計・体重計の設置



- ・利用者健康管理用血圧計
- ・体重計を設置

10 トップアスリートの招へい



- ・オリンピック招へいの模範泳法、水泳教室、サイン会の開催
- ・講演会やセミナーの実施
- ・子どもへ夢や希望を与える機会提供

11 指導者講習会の開催



- ・「指導者講習会」の開催
- ・当連盟スタッフ活用による4泳法の初心者指導

12 ひと目でわかるスタッフ紹介



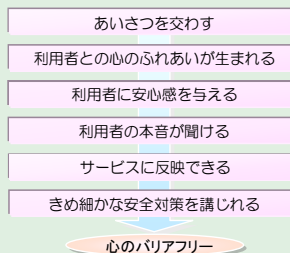
- ・スタッフの写真と名前を提示
- ・職員全員の名札着用
- ・スタッフユニフォームもわかりやすい黄色で統一

13 運営管理に精通した安定感ある人材の配置



- ・館長は当連盟常務理事
- ・副館長は水泳コーチ歴25年以上
- ・スタッフ全員、プール管理者に必要な資格取得

14 利用者に対する心のバリアフリー



- ・挨拶第一の応接挨拶
- ・利用者の本音を聞くことによるサービス
- ・よりきめ細かな安全対策

15 不審者対応のための「こどもかけこみ110番」への登録



- ・児童の安全な登下校や安全な放課後の時間を保障する「こどもかけこみ110番」に申請・登録済み

16 駐車禁止のための三角コーナの設置



- ・水泳大会時の路上駐車禁止用三角コーンを100個を米子市中体連と連携し購入

17 意見箱・感謝の箱の設置



- ・意見箱の設置
- ・施設全体の評価用感謝の箱
- ・よかった所をもっと伸ばしていく施設作り

18 外国語での案内板



- ・国際利用環境を整えるため4ヶ国語の案内板の設置



19 樹木等の景観美化の徹底



- ・植栽等の日常の手入れ
- ・年に3回以上施設全体の草刈の実施

20 適正な敷地内の清掃



- ・午前・午後と1日2回の施設巡回
- ・目の届きにくい場所の清掃
- ・不快感を与えない快適できれいな環境づくり

21 泳法分析会の開催



- ・水中カメラによる「泳法分析会」の開催と的確なアドバイス

22 子ども達の活躍の応援



- ・活躍した子どもたちの新聞記事等を館内に掲示して、子ども達の活躍を応援

23 管理者を明確にするための看板



- ・本水泳場指定管理者の明示

24 水泳の普及発展・県民の健康増進の手助け



- ・健康・体力づくり活動の拠点としての環境づくり
- ・学校PTA行事や、各公民館の子ども会活動の行事に当施設を提供

25 県内小中学校との連携 (職場体験・社会科見学などの校外学習)



- ・中学校の職場体験・小学校の社会科見学など校外学習の受け入れ
- ・本水泳場の持っている目的を児童・生徒への啓発活動

26 県内小中学校との連携 (放課後水泳・部活動)



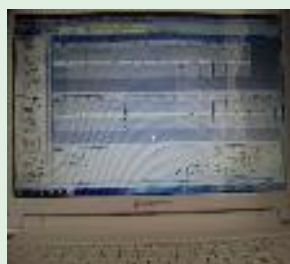
- ・小学校の課外活動・中学校の部活動など様々な知識を提供

27 水泳大会のプログラム作り等、事前準備の手助け



- ・大会プログラム作りなど事前準備に協力

28 大会にふさわしい最高のコンディショニング維持



- ・機器等準備において満足して頂け好記録の出る大会にできるよう最高のコンディション作り



29 適正な設備・器具等の維持管理



- ・大会使用機器の不備・異変を速やかにキャッチ、早めの対応で管理

30 水泳教室の充実



- ・日本水泳連盟の指導有資格者による安心安全な楽しい水泳教室の展開

31 トライアスロンのトレーニングの環境整備



- ・シドニーオリンピック出場者小原工氏による練習会、ジュニア育成活動トライアスロン教室の開催

32 フィンスイミング教室の開催



- ・フィンスイミング世界選手権代表の増田恒幸氏と協力して教室を開催

33 安全水泳教室の開催



- 皆生ライフセービングクラブと連携し児童・生徒を対象とした「着衣泳体験教室」を実施



(3) サービス向上手段 33 項目の評価、及び改善の方向と取り組み

これまでの取り組みについて評価をすると次のようになりました。これをもとに今後の方向性を見出し発展させていきます。

サービスの向上策と利用促進に向けた取り組みの自己評価

番号	取り組み	評価	成果と今後の対応
(1)	利用者とのコミュニケーション重視	◎	元気な挨拶が飛び交う明るい雰囲気を実現
(2)	快適な空間の提供	○	室温等の微調整により笑顔が絶えない空間を実現
(3)	最適な水温管理の徹底	◎	厳格な水温管理でクレームが激減
(4)	最適な水質の管理	◎	透明度の確保により気持ちよく泳げる環境を実現
(5)	快適で衛生的な更衣室	△	一部髪の毛が残ったことがあり、水洗いを徹底した
(6)	快適で衛生的なトイレ	○	汚れの除去や消臭の徹底とブースの更新をした
(7)	人に優しいサイン計画	○	優しいサイン計画によりスムーズな導線の実現
(8)	車いすの安全な使用	◎	定期点検の実施による安全を確保
(9)	血圧計・体重計の設置	○	自己管理の習慣を実現
(10)	トップアスリートの招へい	△	天候不順での開催中止と次年度実現への起案の展開
(11)	指導者講習会の開催	○	水泳連盟主催及び県体育保健課の研修会を実施
(12)	ひと目でわかるスタッフ紹介	○	掲示板を活用したスタッフの紹介を実施
(13)	運営管理に精通した安定感ある人材の配置	○	全ての職員がトップアスリートや水泳経験者を配置
(14)	利用者に対する心のバリアフリー	○	ホスピタリティの実施による暖かな関係を保持
(15)	不審者対応のための「こどもかけこみ110番」への登録	○	場内監視の徹底により実績ゼロ
(16)	駐車禁止のための三角コーナーの設置	○	三角コーナーの設置により違法駐車ゼロ
(17)	意見箱・感謝の箱の設置	○	意見や感謝の設置により利用者の声の把握
(18)	外国語での案内板	◎	月2回程度英語で対応する
(19)	樹木等の景観美化の徹底	◎	春及び秋に実施
(20)	適正な敷地内の清掃	○	適時除草作業を実施
(21)	泳法分析会の開催	◎	必要に応じウェアラブルカメラを随時使用に進化
(22)	子ども達の活躍の応援	○	成果の上だったこどもたちの活躍で掲示物で支援
(23)	管理者を明確にするための看板	△	周知の徹底によりコンパクトな看板へ変更
(24)	水泳の普及発展・県民の健康増進の手助け	◎	一般利用への健康水泳の周知の展開
(25)	県内小中学校との連携（社会見学・職場体験）	△	米子南高校の職場体験が1件で今後他校への公報展開
(26)	県内小中学校との連携（放課後水泳・部活動）	◎	米子市内中学校の希望する部活動との連携
(27)	水泳大会のプログラム作り等、事前準備を含めた大会開催の手助け	◎	年回18回の事前準備や大会サポートを実施

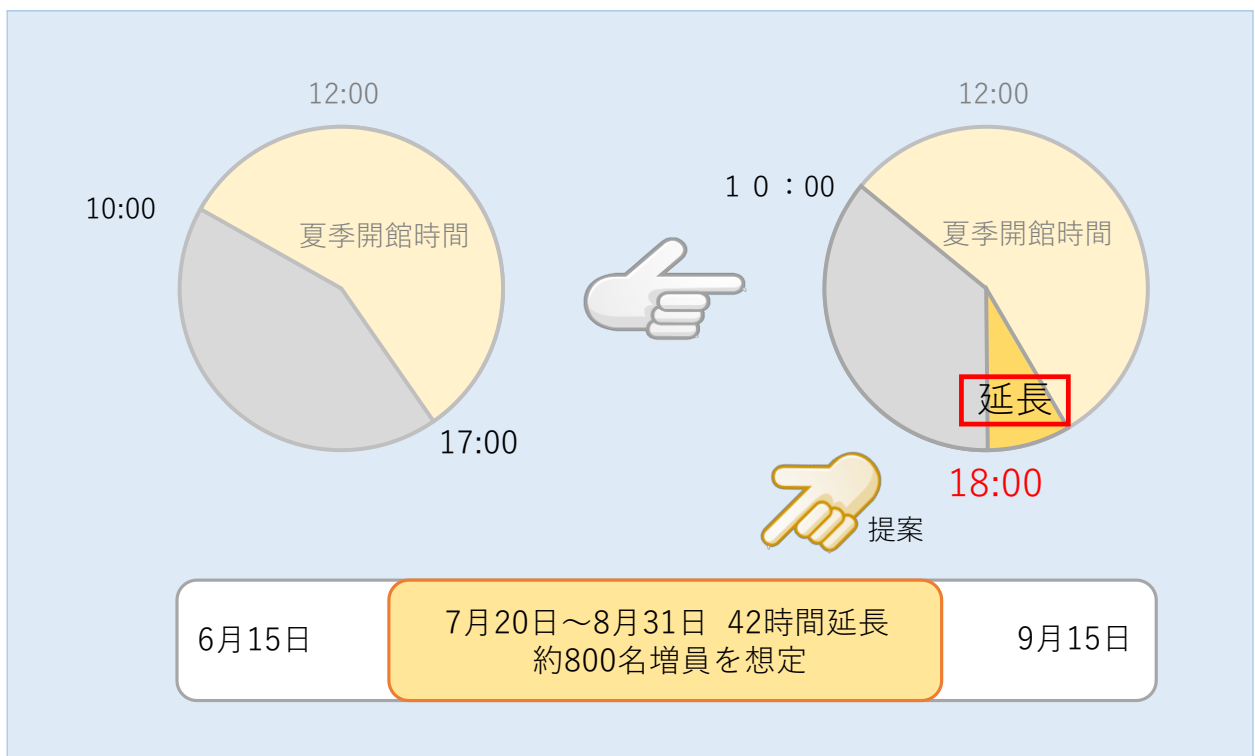


(28)	大会にふさわしい最高のコンディショニング維持	◎	透明度、水量や水質、水温の厳格な管理の実施
(29)	適正な設備・器具等の維持管理	○	始業前点検、専門業者による定期点検等を通じた安全確保
(30)	水泳教室の充実	○	月 100 時間、延べ人数 1500 名の教室実施
(31)	トライアスロンのトレーニングの環境整備	△	大会に向けた泳力向上に寄与する環境の確保
(32)	フィンスイミング教室の開催	△	個人フィンスイマーのコース確保と米子水泳協会との連携
(33)	皆生ライフセービングクラブと連携しての安全水泳教室の開催	×	開催できなかった 事業計画の見直しをしたい

(4) 夏休み期間中の利用時間の延長について

利用者の方の利便性を高めるため、こどもたちや仕事帰りの社会人の方々が使いやすいよう 7月20日から8月31日の間 50m屋外プールは時間を延長します。

	通常利用時間	利用時間の延長
50m屋外プール	10:00～17:00 (6/15～9/15)	10:00～18:00 (7/20～8/31)



(5) 大会時の開錠及び準備・片付けについて

大会がスムーズに開催できるよう規定の時間より早く開錠いたします。

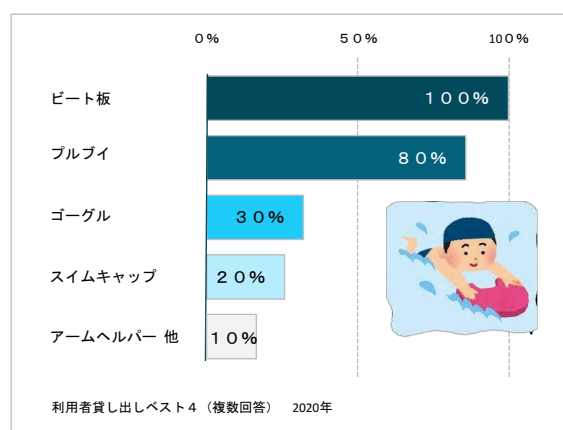
- ア 大会時の開門時間について、大会主催者との話し合いにより、7時30分からの開場を行います。
- イ 大会時の機器の設定準備、または、後片付けは、スタッフが主催者と共に中心になって行います。

	通常利用時間	利用時間の延長
大会時開場時間	10:00～17:00	7:30～

(6) 水泳用品の無料の貸し出しについて

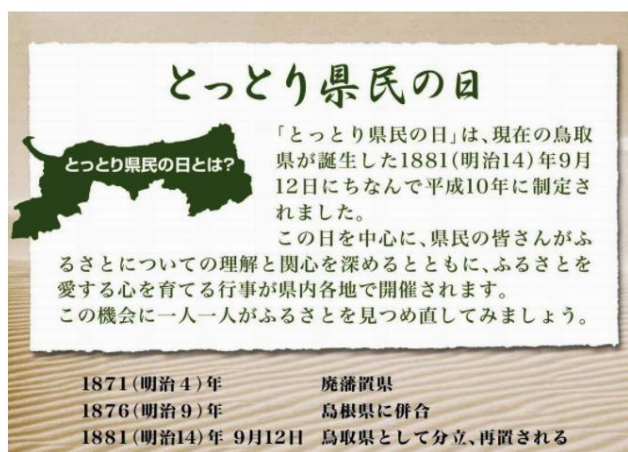
無料で水泳用品の貸し出しを行います。
水泳場利用者の「借りたいもの」はアンケートや聞き取りなどから次の表のようになります。

貸し出しできるもの
・ゴーグル ・スイムキャップ
・アームヘルパー
・ヘルパー ・ビート版



(7) 県民の日に因んだ催しの開催

毎年、9月12日は鳥取県民の日です。鳥取県民条例により「県は、とっとり県民の日を中心として、とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行うものとする」としています。私たちは、鳥取県民の日に因んだ催しを行います。この日は、無料開放日となります。



(鳥取県民条例)

第2条 とっとり県民の日は、9月12日とする。

第3条 県は、とっとり県民の日を中心として、とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行うものとする。



県民の日に開催するものとして、次のようなものが考えられます。

ア 大人も子どもも楽しめる、水中遊具で自由に遊ぶ催し「水で遊ぶ祭り」

イ 50m長水プールでの誰でも参加できる記録会「あなたもチャレンジ・スイム」

ウ フィンスイミングの体験教室「イルカのように泳ごう！フィンスイミング！！」



(8) 今後、5年間のサービス向上策について

私たちは、これまで取り組んできた「33のサービス向上策」の一部を見直し、さらに新たなものを加え新しく「40のサービス向上策」として取り組んでいきます。

<h3>1 利用者とのコミュニケーション重視</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●積極的なコミュニケーション ●要望・クレームの迅速対応 ●利用者のニーズへの対応 <p>継続</p>	<h3>2 快適な空間の提供</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●ホール1にフードコートを設置 ●電子レンジ設置 ●きめ細かな清掃 ●日常的施設・設備の点検補修の徹底 <p>継続</p>
<h3>3 最適な水温管理の徹底</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●定時の水温測定 ●プール入水で快適性を確認 <p>継続</p>	<h3>4 最適な水質の管理</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●利用者目線でのゴミ拾い ●日常の管理の徹底 ●25m先まで見える透明度の維持 <p>継続</p>
<h3>5 快適で衛生的な更衣室</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●定期的な水の除去 ●足拭きマットの設置 ●シャワー室用タオル置き場の設置 ●更衣室の衛生管理の徹底 <p>継続</p>	<h3>6 快適で衛生的なトイレ</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●日常の清掃の徹底・きめ細かな点検、補修 ●快適で衛生的なトイレ <p>継続</p>
<h3>7 人に優しいユニバーサルデザイン</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●大きな表示の案内板 ●ユニバーサルデザインの導入 <p>新規</p>	<h3>8 車いすの適切な使用</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ●車椅子の定期的安全点検 ●車椅子設置場所を分かりやすい玄関に <p>継続</p>



9 血圧計・体重計の設置



- 利用者健康管理用血圧計
- 体重計を設置

継続

10 トップアスリートの招へい



- オリンピック招への模範泳法、水泳教室、サイン会の開催
- 講演会やセミナーの実施

拡充

11 医師による水泳と健康に関する講演



- 水泳と健康について医師による講演会を開催
- 講演内容を利用者に配布

新規

12 一目でわかるスタッフ紹介



- スタッフの写真と名前を提示
- 職員全員の名札着用
- スタッフユニフォームもわかりやすい黄色で統一

継続

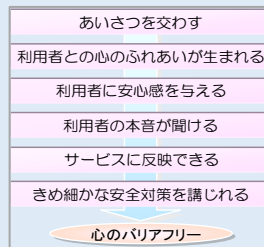
13 管理運営に精通した人材の配置



- 館長は当連盟常務理事
- 副館長は水泳コーチ歴25年以上
- スタッフはプール管理者に必要資格取得

継続

14 利用者に対する心のバリアフリー



- 挨拶第一の応接挨拶
- 利用者の本音を聞くことによるサービス
- よりきめ細かな安全対策

拡充

15 不審者対応のための「こどもかけこみ110番」への登録



- 児童の安全な登下校や安全な放課後の時間を保障する「こどもかけこみ110番」に申請・登録済み

継続

16 駐車禁止のためのレッドコーンの設置



- 挨拶第一の応接挨拶
- 利用者の本音を聞くことによるサービス
- よりきめ細かな安全対策

継続

17 アンケート・意見箱の設置



- 意見箱の設置
- 施設全体の評価用感謝の箱
- よかった所をもっと伸ばしていく施設作り

継続

18 外国語での案内版



- 挨拶第一の応接挨拶
- 利用者の本音を聞くことによるサービス
- よりきめ細かな安全対策

拡充



19 植栽の手入れ



- 植栽等の日常手入れ
- 年に3回以上施設全体の草刈の実施

継続

20 敷地内の清掃



- 午前・午後と1日2回の施設巡回
- 目の届きにくい場所の清掃
- 不快感を与えない快適できれいな環境づくり

継続

21 泳法分析の個別化



- 水中カメラによる「泳法分析会」の開催と的確なアドバイス

拡充

22 こどもたちの活躍の応援



- 新聞記事等を館内に掲示して、子ども達の活躍応援

継続

23 管理者を明確にするための看板の設置



- 本水泳場指定管理者の明示

継続

24 県民の健康増進の手助け



- 健康・体づくり活動の拠点として学校行事や、各公民館の子ども会活動の行事に当施設を提供

新規

25 県内小中学校との連携（職場体験など学校行事の提案）



- 健康・体づくり活動の拠点として学校行事や、各公民館の子ども会活動の行事に当施設を提供

継続

26 県内小中学校へコーチ派遣事業



- 小学校の課外活動中学校の部活動など様々な知識を提供

継続

27 大会開催準備の手助け



- 大会プログラム作りなど事前準備に協力

継続

28 大会にふさわしいコンディショニングの維持



- 機器等準備において満足して頂け好記録の出る大会にできるよう最高のコンディショニング作り

継続



29 大会使用機器等の整備



●大会使用機器の不備・異変を速やかにキャッチ、早めの対応で管理

継続

30 水泳教室の充実



●日本水泳連盟の指導有資格者による安心安全な楽しい水泳教室の展開

拡充

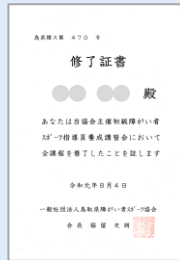
31 障がい者水泳大会の誘致



●鳥取県障がい者協会と連携し、障がい者の水泳大会を誘致

新規

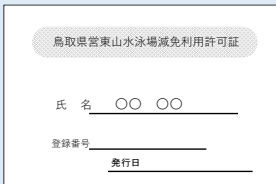
32 障がい者スポーツ指導員の資格取得



●障がい者スポーツ指導員への対応がスムーズに進むよう、1年に1名ずつ養成

拡充

33 70歳以上（減免）の加入促進



●70歳以上の減免制度（無料）の広報と入場資格証を発行

継続

34 来場者対象無料のウォーキング教室の開催



●ウォーキング教室、水中ダンスなど誰でも楽しめる教室を開催

継続

35 西部広域消防潜水訓練への協力



●西部広域消防の潜水訓練に協力

拡充

36 障がい者支援施設との連携



●障がい者支援施設にパンの即売会など売り上げに協力

拡充

37 利用者さんによる生花教室



●館内の環境を整えるため、利用者さんによる四季の花を生かした生花の展示

新規

38 地域の方による作品展示



●2階観覧室のスペースを生かし、地域の方々の作品を展示

新規



<p>39 フィットネス教室開催</p>  <p>●2階観覧室のスペースを利用し、プロジェクターによるフィットネス教室（無料）を開催</p> <p>新規</p>	<p>40 こども水祭りの開催</p>  <p>●県民の日にちなんだ行事として水に親しむべく「こども水祭り」を開催</p> <p>新規</p>
---	---

(9) 利用者等の要望の把握及び対応方針

私たちは、利用者の声に耳を傾けます。管理者の目線で管理運営について考えるのではなく、利用者の目線に立って物事を考える態度が必要です。次期指定管理に臨むにあたり、ひとりでも多くのお客さまの生の声を収集し、お客さまのニーズに合わせた管理運営を行い、お客さま満足度の向上を目指します。

① 要望等の把握の方法について

受付での窓口対応の中での聞き取りや定期アンケートのほか、常設の意見箱（みなさんの声）、ホームページ等によりお客さまの要望を把握し、意見を反映させ、常に改善をつづける管理運営を行います。

- | | |
|---|-------------------------------|
| ア | アンケート調査を行い、利用者の要望、満足度の確認を行います |
| イ | 常日頃より、直接利用者の方のご意見を伺います |
| ウ | 意見箱を設け、いつでも利用者の要望がわかるようにします |
| エ | ホームページで意見集約を行います |

② 要望への対応について

お客さまから寄せられた要望を分析し、すぐに対応できる要望と県や県水連事務局との協議が必要な要望に分けたうえで対応します。私たちは、利用者の要望や利用目的等をアンケートや聞き取り等で把握し、利用者へ提供したいと考えます。

ア 利用者の数値からの把握

次の表は、平成27年度から令和2年度までの入場者数を表しています。令和2年度は新型コロナウイルスのため一般利用者も閉館で減り、各種水泳競技大会も相次いで中止により激減しました。しかし、利用者全体としては緊急事態宣言等が解除され8月には運動不足を解消するべく急激な来場者が見られます。その後は、シーズンオフに向けて平常に戻った感があります。

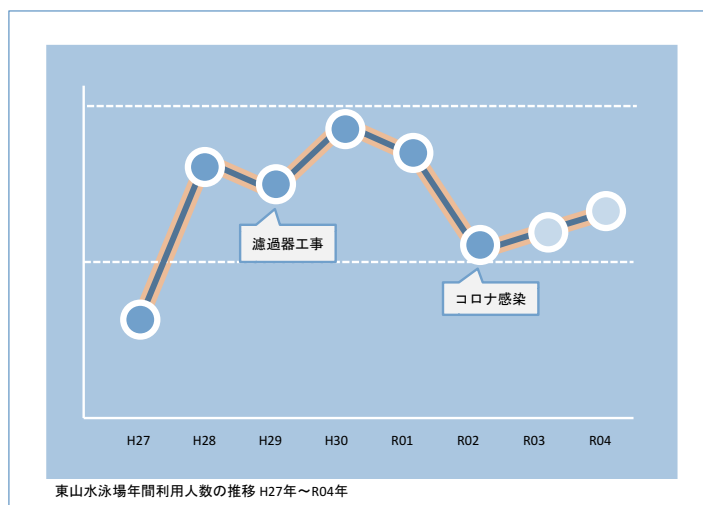
特に、最近では70歳以上の減免者の登録が多くなっています。健康維持、増進の目的



が多いように感じます。利用者さんのニーズを把握しながら運営をしてまいります。

(ア) 総利用者数の推移

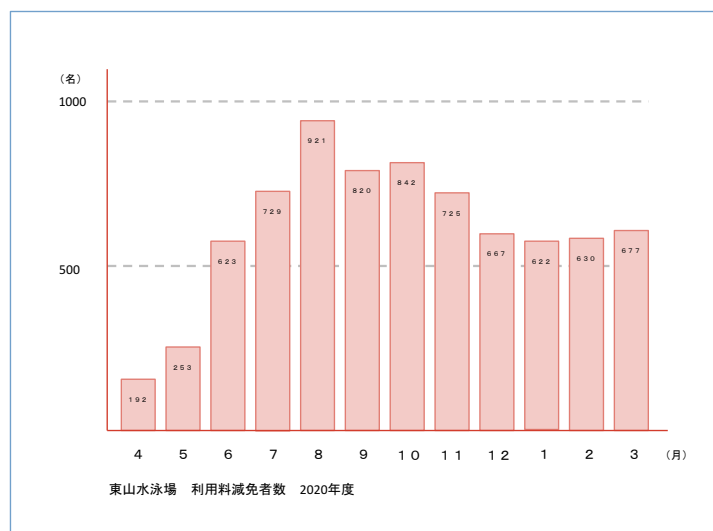
平成 27 年から令和 4 年までの東山水泳場推移では、平成 29 年度のろ過機工事の影響やコロナ感染症拡大により減少の課題に対し、今後の見通しを立て課題解決に向け取り組んでいます。



(イ) 減免者の推移

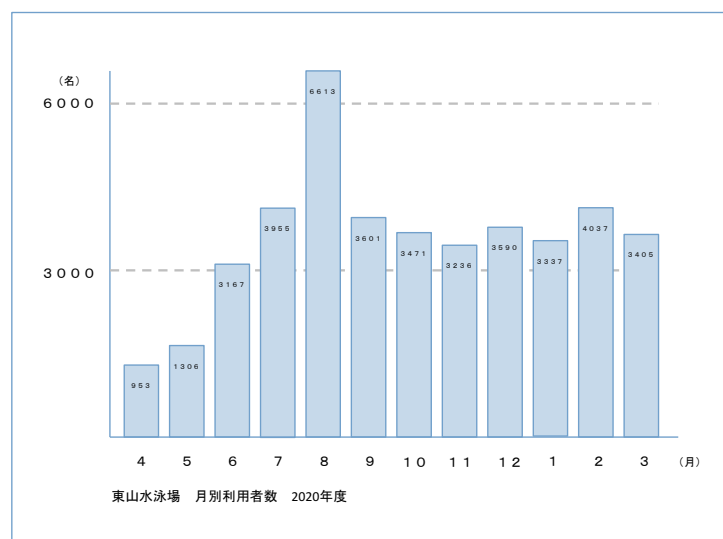
減免利用者数がピークに達し、その後、高齢者減免利用者の減少で全体の推移が低くなっています。

今後、コロナ感染症の動向を見据え、高齢者、障がい者、消防署訓練や中学校の部活動を含めた対応に取り組んでいきます。



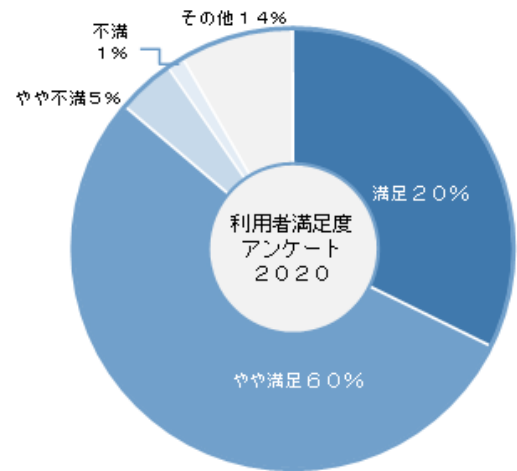
(ウ) 月別利用者数の推移

2020 年 8 月の利用者の増大は、コロナ禍にあり、人々が遠出を避けた結果と考えられ、その後の推移は、ほぼ横ばい状況にあります。今後、さらに利用者数増大にむけ潜在利用者の把握とアプローチに取り組んでいきます。

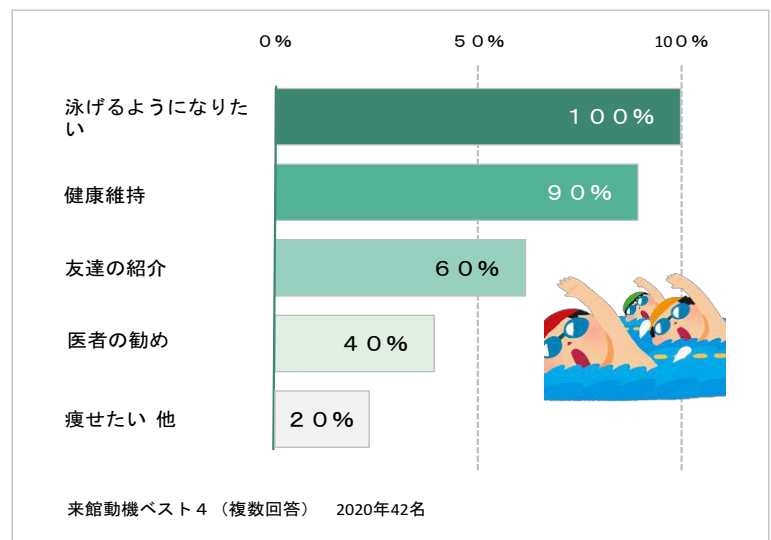


イ 目的や満足度からの把握

利用者アンケート結果では、満足20%、やや満足が60%で、ほぼ80%の方々の評価の結果で、今後、更に気づかなかった課題への見える化への整理と課題解決に向け取り組んでいきます。

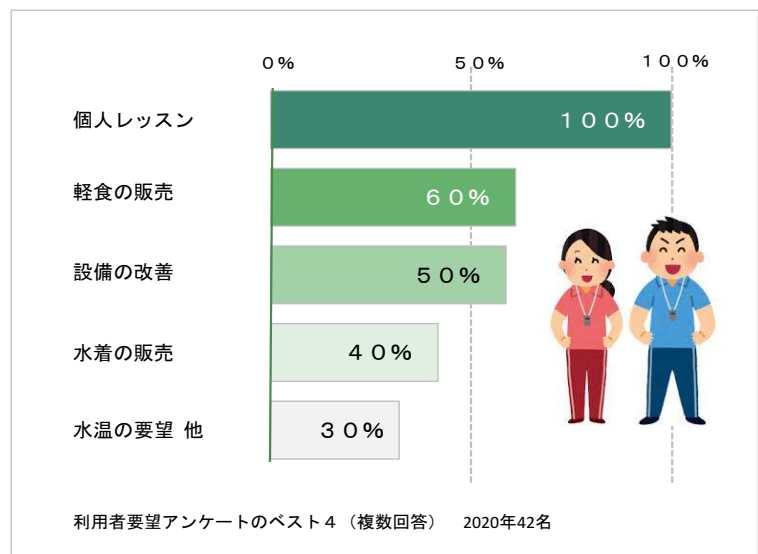


アンケート調査で、新規入会者等の来館動機の予想していた項目と予想していなかった項目があり、その課題解決に対し、今後、利用者との挨拶を含めた日常会話でのコミュニケーション能力を高め、職員間での情報共有を図り、快適環境づくりに取り組んでいきます。



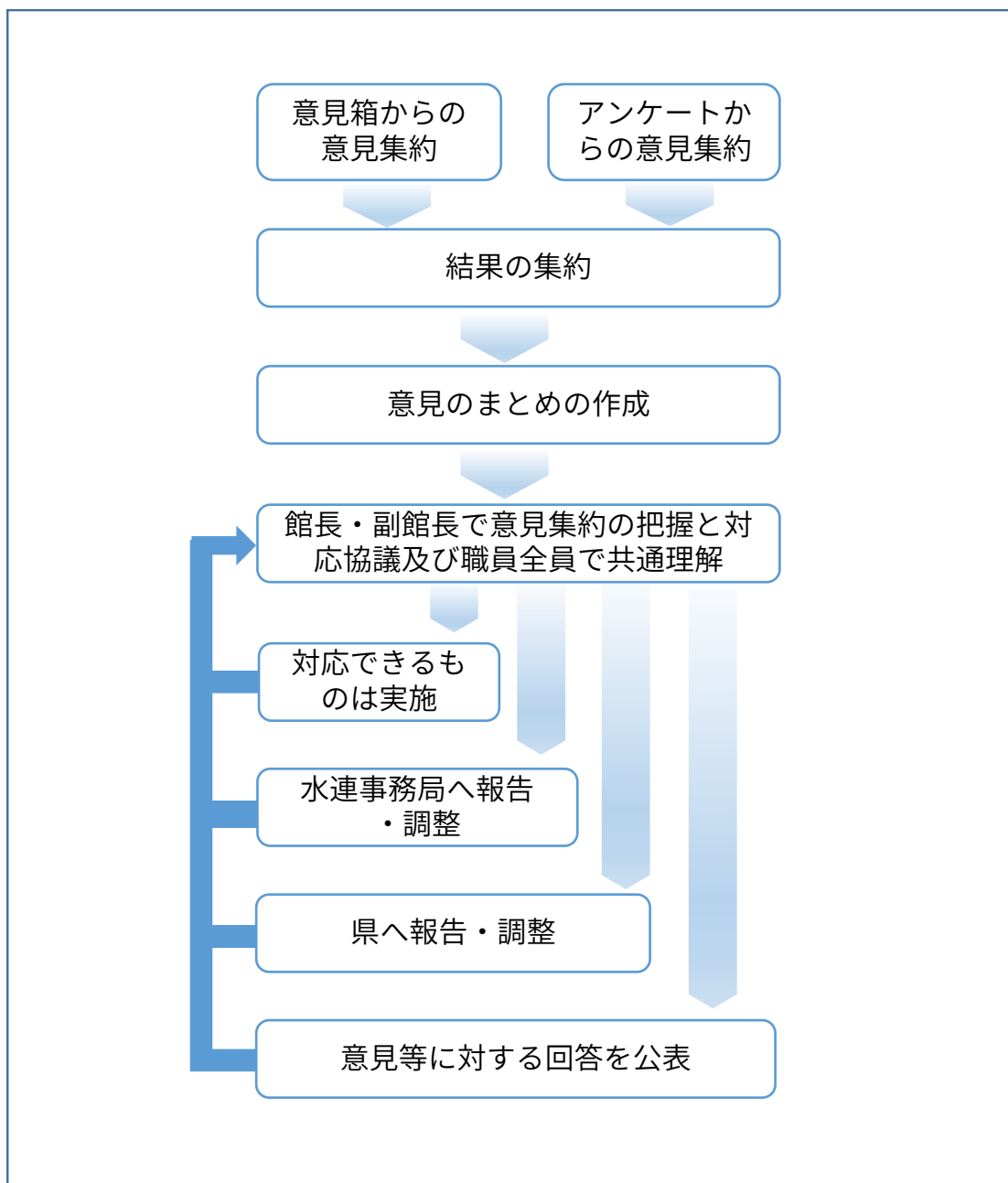
ウ サービスの観点から見た要望

アンケート調査では、常連や新規来館者を含めた要望を速やかに把握と検討及び改善策を起案し、その結果を公表します。私たちが何ができるか、課題を検討し、課題解決の実現化に向けその経過報告と起案の動向等に取り組んでいきます。



③ 要望・意見・アンケートの集約の流れ

要望・意見・アンケートの集約の流れは次のようになります。



④ 要望、アンケート結果の公表について

利用者の要望やアンケート結果は、前述の流れで処理し、公表します。

要望	要望はその都度回収し、各月ごとにその対応の結果についてホームページ、管内掲示でお知らせします
アンケート結果	アンケート集計後、ホームページ、館内掲示等でお知らせします

